

尺を總尺より減じ、其残りを四にて除し、後丈を得、後丈に五寸を

圖七十七第

後	前	前	後	袖	袖
チマ	ロデソ	リ	エ	七寸差	
	袖口布幅二寸	衿幅四寸	衿丈四尺八寸	後丈二尺七寸	襠幅二寸
			前丈三尺二寸	衿肩二寸	袖丈一尺五寸

算式
 袖丈 $15,5 \times 4 = 62,$
 前後の差の二倍
 $118, - 10, = 108,$
 $27, + 5, = 32,$ 前丈の差
 總丈 $180, - 62, = 118,$
 $108, \div 4 = 27,$ 後丈

圖八十七第

ウシ	マ	チマ	マ	ウシ	ソ	ソ
レキ	ロデソ	リ	エ	四寸	レキ	ロデソ
				衿肩二寸	後丈二尺一寸	式
				丸三分の處にて	三分直線に切り	衿肩は一寸七

算式
 袖丈 身丈 $16, + 21, = 37,$
 $37, \times 4, = 148,$
 $148, + 17, = 165,$ 襠

○常幅長さ一丈八尺の布を以て、四つ身袷羽織表の裁方及積方。袖丈一尺五寸五分の四倍と、身頃前後の差五寸づゝ、即一

身丈二尺内外、袖丈着物より三分長く、袖付一分多く、後幅六寸五分、前幅四寸五分、衿幅一寸五分、襠幅一寸五分、上の方にて五分、前の下七分、紐付肩より六寸下りて付くるなり。

圖五十七第

後	前	リコノ	袖	袖
リコノ	前	後	六七五	

算式
 袖丈 $15,5 \times 8 = 124,$
 $124, + 102, + 9, = 235,$ 縫代
 身丈 $17, \times 6 = 102,$
 $235, - 140, = 95,$ 表地 用布

圖六十七第

前	後	袖	袖	中九寸
チ	マ	ロデソ	リ	エ
前				

算式
 袖丈 $15,5 \times 4 = 62,$
 總尺 前を長くする分
 $120, - 62, - 4, = 54,$
 $54, \div 2 = 27,$ 後丈
 $27, + 4, = 31,$ 前身頃丈

加へ前丈を得るなり。

○常幅長さ一丈六尺五寸の布を以て、男兒四つ身單羽織の裁方及積方。(第七、十八圖)

注意 袖丈一尺六寸、身丈二尺一寸裁切り。

積方。袖丈一尺六寸に身丈二尺一寸を加へ、三尺七寸を得、之を四倍して一丈四尺八寸を得、之に襠の一尺七寸を加へ、總尺を得るなり。

○表地一丈八尺、裏地一丈の布を以て、四つ身の袷羽織を裁縫するに袖丈一尺五寸にせば、身丈幾何なるか。(第一算式)

答 身丈一尺八寸一分二厘五毛。

積方。袖丈の八倍と、前下及縫代の一尺五寸とを、裏地と表とを加へたる者より減じ、其残りを八にて除せば、出來上り身丈を得

るなり。

○二丈五尺の壽寄屋を以て單羽織を裁つに袖丈一尺五寸に

なせば、身丈及衿丈は何程なるか。
注意 襠を棒裁とす。

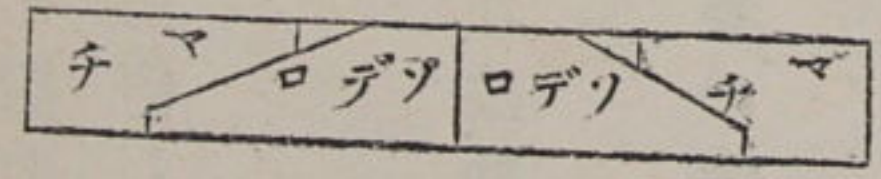
一 第 算 式

袖丈	$15, \times 8 = 120,$	表裏	$180, + 100, = 280,$
	$280, - 120, = 160,$	縫代	$160, - 15, = 145,$
	$145, \div 8, = 18, 125,$	後丈	

二 第 算 式

袖丈	$15, \times 4, = 60,$	總尺	衿廻前下及△ダ布
	$172, \div 6 = 28, 6$ 身丈	$250, - 60, - 18, = 172,$	
	$57, 2 + 8, = 65, 2$	$28, 6 \times 2 = 57, 2$	
	衿廻 衿丈		

圖 九 十 七 第



積方。二丈五尺の中より袖丈の四倍と前先のむだ切の一尺八寸とを減じ、其残りを六にて除せば身丈を得、之を二倍し、衿肩廻しの八寸を加へて衿丈を得るなり。

○片面物を以て、襠と袖口を鈎裁かぎになす法。

片面物を以て單羽織を裁つに、襠を鈎裁になすときは、袖口をも鈎裁になして、うばに付けぬ様にすべし。

○常幅長さ一丈四尺の布を以て、四つ身筒袖羽織表の裁方及

積方。(第八十圖)

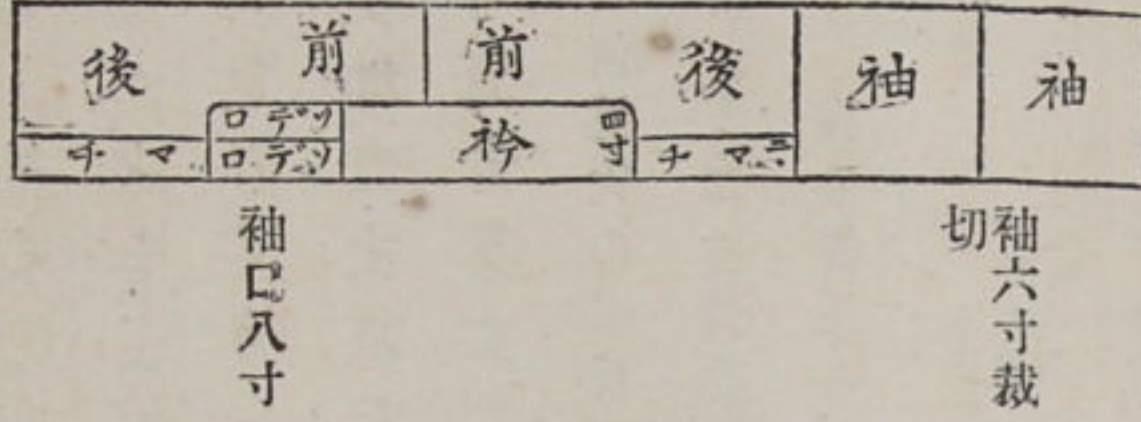
注意 三つ身筒袖も、四つ身裁ちにするをよしとす。

積方。袖丈六寸の四倍と、前後の差五寸づゝ二つ、即一尺を總尺より減じ、残りを四除して後丈を得、後丈に五寸を加へて、前丈を得るなり。

○常幅長さ二丈八尺の表地を以て、袷羽織の裁方及積方。(第八十一圖)

注意 身丈出來上り二尺六寸。

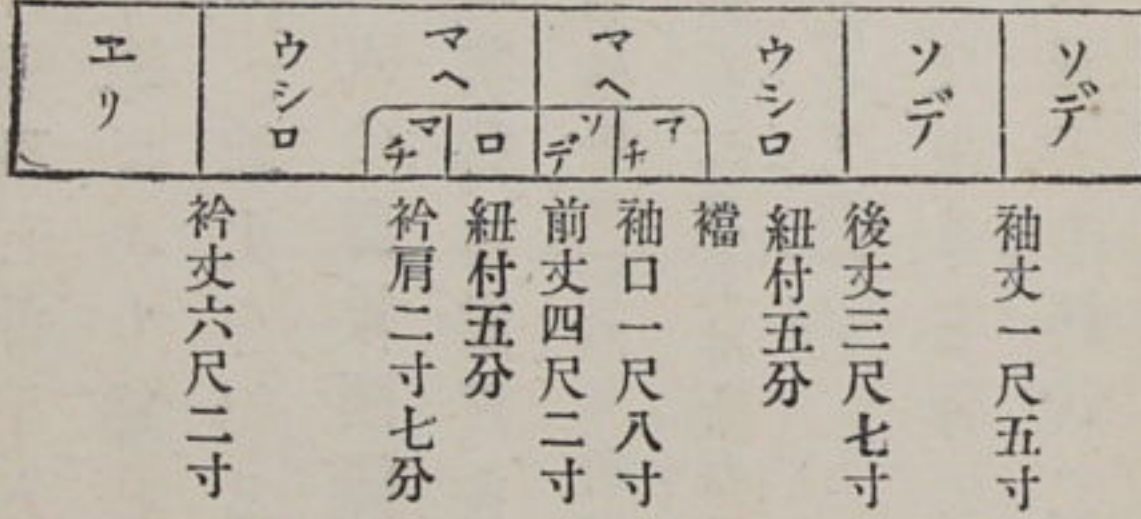
圖 十 八 第



算 式

袖丈 $6, \times 4 = 24,$ 總尺 前後の差の二倍 $140, - 24, - 10, = 106,$
 $106, \div 4 = 26,5$ 後丈 $26,5 + 5, = 31,5$ 前丈

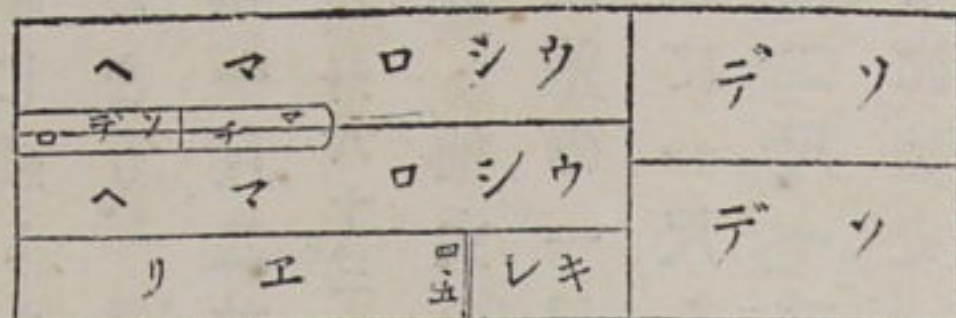
圖 一 十 八 第



算 式

袖丈 $15, \times 4 = 60,$ 身丈 $26, + 5, = 31,$
 $31, \times 2 = 62,$ 總尺 衿 袖 前後の差 $280, - 62, - 60, - 10, = 148,$
 $148, \div 4 = 37,$ 後丈 $37, + 5, = 42,$ 前丈

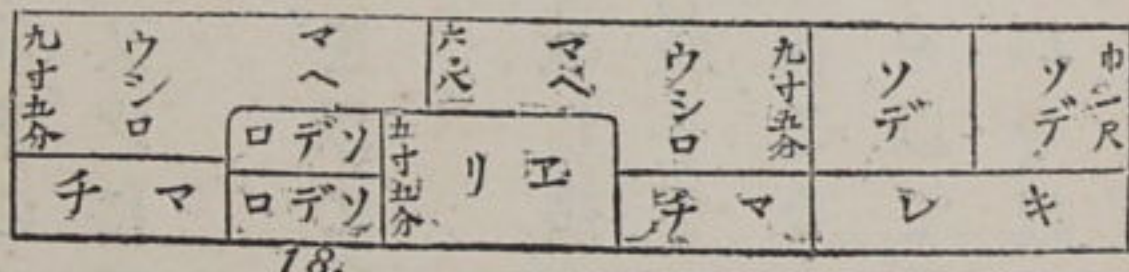
圖二十八第



袖丈一尺四寸五分
 後丈三尺八寸
 前丈四尺三寸
 衿肩二寸七分
 衿直は二寸二分
 分正に切り二
 跡五分の處に
 て丸く裁つな
 り

算式
 袖丈 $14,5 \times 2 = 29,$
 $76, \div 2 = 38$ 後丈
 總尺 $110, - 29, - 5, = 76,$
 $38, + 5, = 43,$ 前丈

圖三十八第



袖丈一尺五寸
 後丈三尺五寸
 前丈四尺七寸
 衿肩二寸七分

算式
 袖丈 $15, \times 4 = 60,$
 $160, - 20, = 140,$
 前後の差の二倍
 $35, + 10, = 45,$
 後丈 前丈
 總尺 $220, - 60, = 160,$
 $140, \div 4 = 35,$
 後尺

○幅二尺一寸長さ一丈一尺の布を以て、男羽織表の裁方及積方

算式

袖丈 $14,5 \times 8 = 116,$
 身丈 $26, \times 10 = 260,$
 $401, + 116, + 25, = 401,$
 $401, - 280, = 121,$
 縫代 裏地

積方。袖丈一尺四寸五分の八倍と、身丈の十倍
 とに、衿肩廻及双方の縫代二尺五寸とを加へ、此
 中より表地の二丈八尺を減ずれば、残り一丈二
 尺一寸となる、即裏地なり。

宛の縫込み、其他は五分宛の縫込みとす。

但縫代の二尺五寸は、三つ衿一寸、胴繼四寸、袖四寸、前下六寸、衿肩廻六寸、衿の下
 り二寸、衿先縫込み二寸とにて都合二尺五寸となるなり、左右の衿先は一寸

積方。袖丈の四倍と、身丈に衿肩廻と前下と衿先の縫代五寸と
 を加へ、之を二倍したるものを總尺より減じ、其残りを四除し、後
 身丈を得、又後身丈に五寸を加へ、前丈を得るなり。
 ○表地二丈八尺の布を以て、大人の男衿羽織を裁つに、袖丈一尺
 四寸五分、身丈二尺六寸にせば、其裏地幾尺を要するか。

積方。袖丈一尺四寸五分の二倍と前下の五寸とを總尺の内より減じ、残りを二にて除し、後丈を得、又之に五寸を加へて前丈を得るなり。

○幅一尺二寸、長さ二丈二尺の繭紬を以て、袷羽織の裁方及積方。(第八十三圖)

積方。袖丈の四倍を總尺の内より減じ、残りの内より後身と前身の差の一尺、左右にて二尺を減じ、残りを四にて除し、後身丈を得、之に一尺を加へて、前身頃の丈を得るなり。

○幅二尺一寸、長さ一丈一尺の表地を以て、袷羽織を裁たんとするに、袖丈一尺四寸、身丈二尺五寸にせば、其裏地何程なるか。

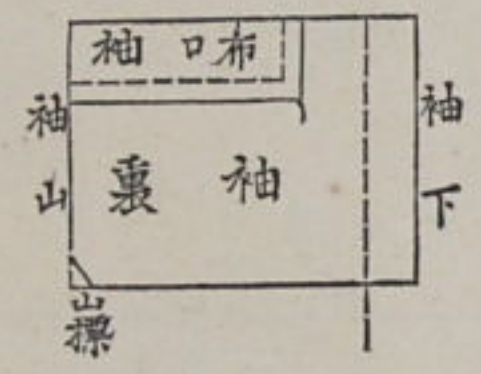
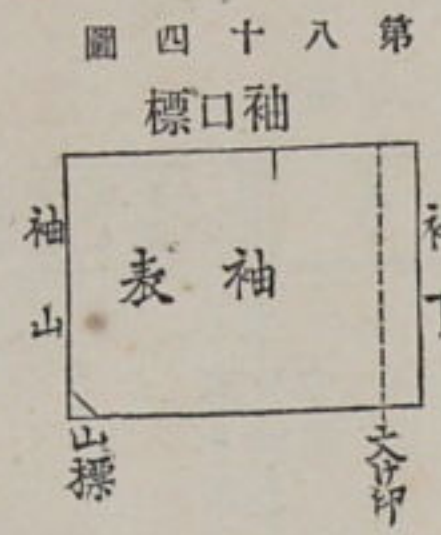
積方。袖丈一尺四寸に身丈二尺五寸を加へ、之を八倍し、又之に縫代の一尺五寸を加ふれば三丈二尺七寸となる。次に表地の一

算式

袖丈 身丈
 $14, + 25, = 39,$
 $39, \times 8 = 312,$
 $312, + 15, = 327,$
 表
 $110, \times 2 = 220,$
 $327, - 220, = 107,$

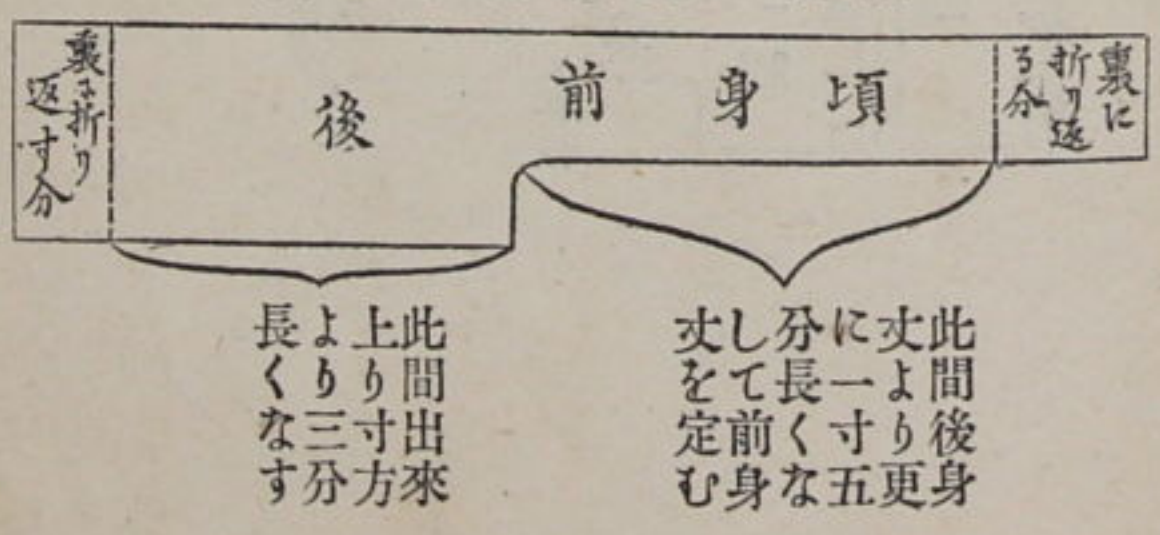
○男袷羽織印付方。

丈一尺を二倍し、之を三丈二尺七寸の内より減ずれば、残り一丈七寸となる。即裏地なり。



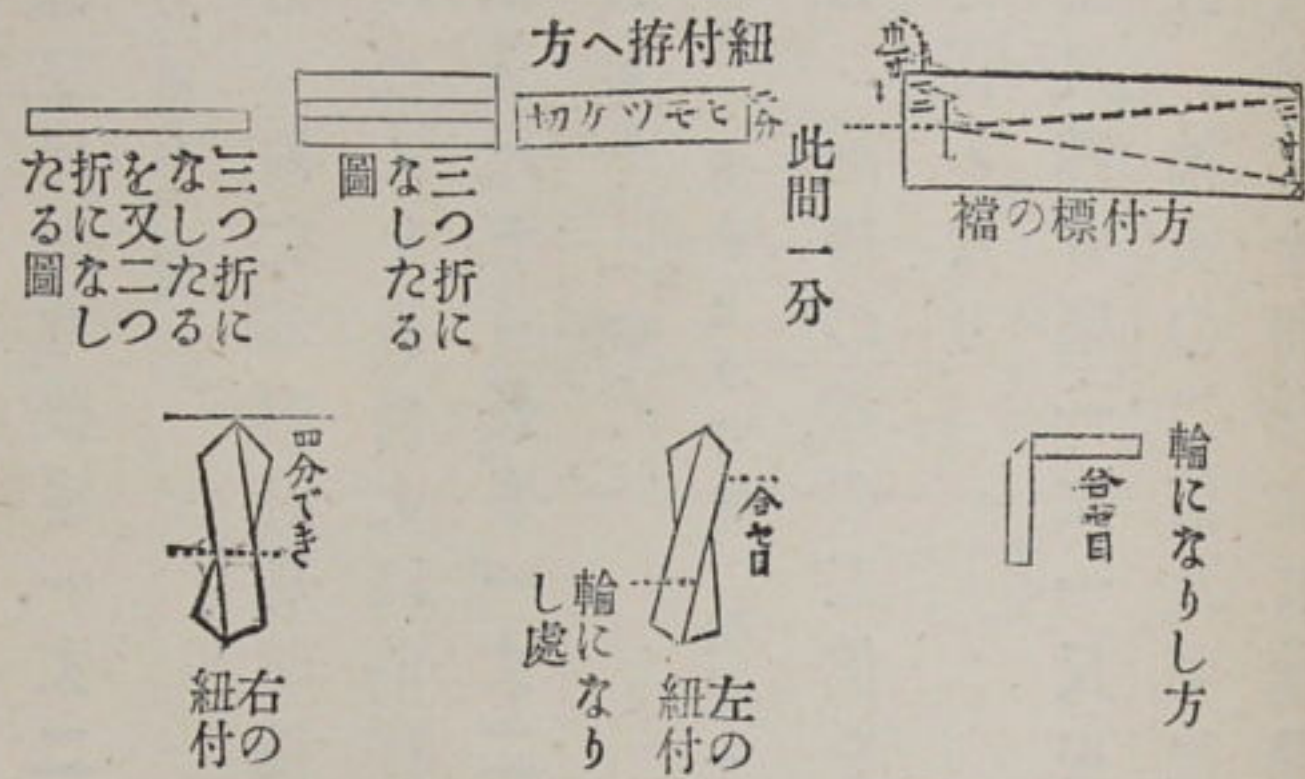
丈は表より五厘短くす

身頃の前後の丈を
 第八十の標を
 第五の付方の
 圖るむ

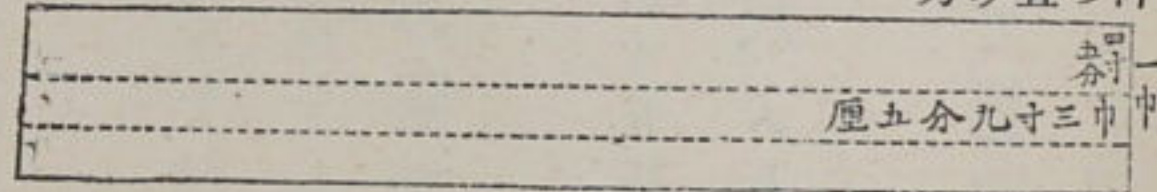


此間後身より一寸五分に長くなる
 此間前後より一寸五分に長くなる
 此間前後より一寸五分に長くなる

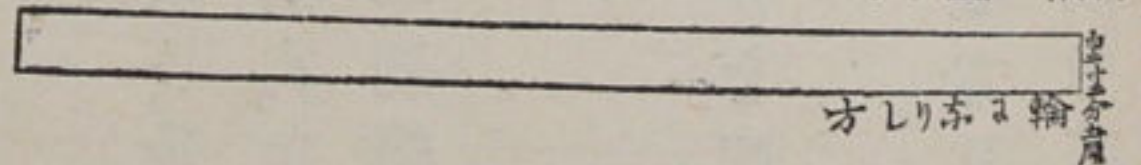
圖九十八第



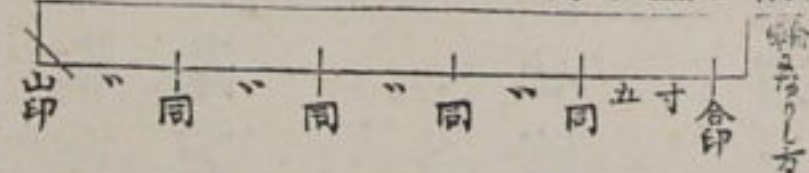
方み疊の衿



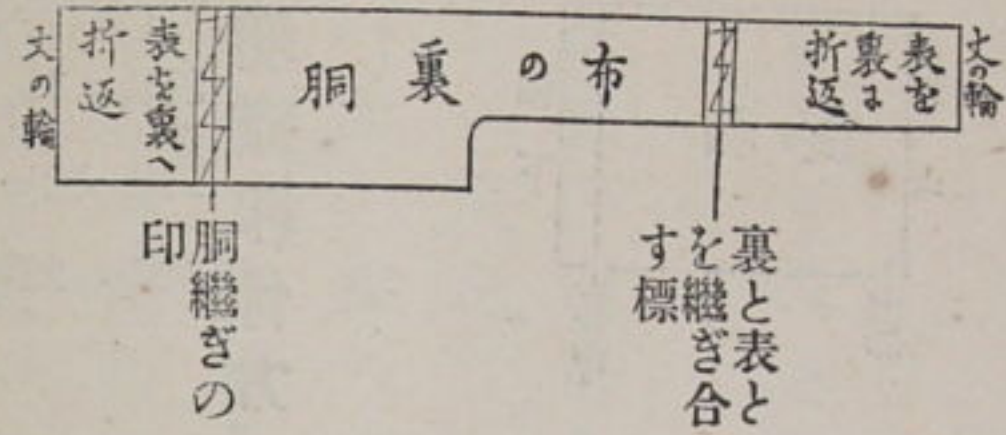
様有るたみ疊てし出を表 方み疊の幅衿



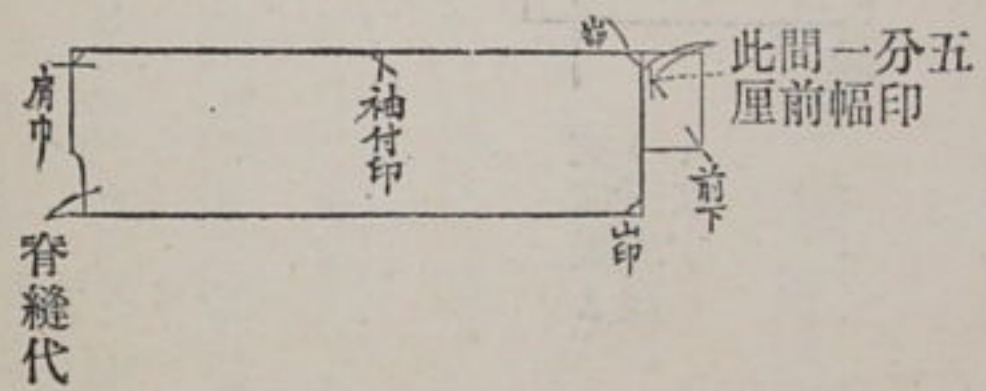
様有る付を印合 方み疊の幅衿



圖六十八第



圖七十八第



圖八十八第



第九十圖

		30.	30.	
後	身頃	前 78 チマロテソ チマロテソ	袖 九、五	袖 九、五
		前	同	同
後	身頃	前 78 チマロテソ チマロテソ	尺六丈衿 九寸	
		前	尺六丈衿 九寸	

し縫但五二衿
な脊分寸肩

五一袖
寸尺丈

算 式

袖丈
 $15, \times 4 = 60,$

$120, - 60, = 60,$

$60, - 4, = 56,$
前後の差

$56, \div 2 = 28,$ 後丈

$28, + 4, = 32,$ 前丈

第九十一圖

		64	28	28
		寸四尺六丈衿	袖 九、五	袖 九、五
		寸四尺六丈衿	同	同
一尺八寸	後	身頃 前 チマロテソ チマロテソ	前 身頃 後	一尺八寸
		前	前	

算 式

總袖
 $120, - 8, = 112,$
前後の差の二倍

$112, \div 4 = 28,$ 後丈

$28, + 4, = 32,$ 前丈

○幅三尺七寸、長さ一丈二尺を以て、單羽織二枚の裁合方及積方。(第九十圖)

積方。袖丈の四倍、及前後の差を總尺より減じ、残りを二にて除せば、後丈を得、後丈に前後の差を加ふれば前丈を得るなり。

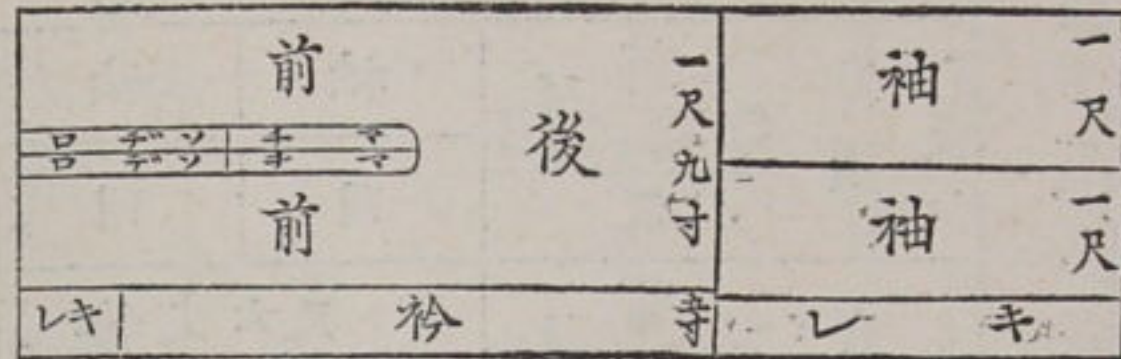
○幅三尺七寸、長さ一丈二尺の羅紗を以て、單羽織の裁方及積方。(第九十一圖)

注意 出來上り寸法、袖丈一尺三寸五分、身丈二尺、積方。前後の差の二倍を總尺より減じ、残りを四除せば後の身丈を得るなり。

○二尺四寸幅、一丈一尺を以て、男羽織表の裁方及積方。(第九十二圖)

積方。袖丈の二倍及前後の差を總尺より減じ、残りを二にて除せば、後丈を得、後丈に前後の差を加ふれば前丈を得るなり。

圖二十九第

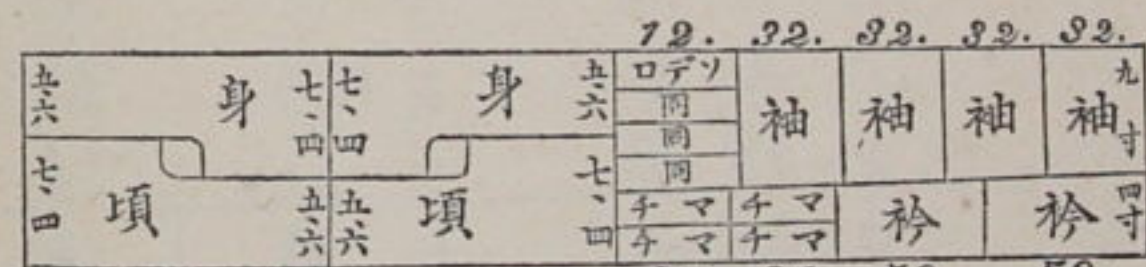


袖丈一尺
五寸
衿丈六尺
五寸
衿肩二寸
七分

算式

$$\begin{aligned}
 & \text{袖丈 } 15, \times 2 = 30, & 110, - 30, - 6, = 74, \\
 & & \text{前後の差} \\
 & 74, \div 2 = 37, \text{後丈} & 37, + 6, = 43, \text{前丈}
 \end{aligned}$$

圖三十九第



衿肩一寸
八分
袖丈一尺
六寸

算式

$$\begin{aligned}
 & \text{袖 } 16, \times 8 = 128, & 245, - 12, - 10, = 95, \\
 & & \text{袖口 前後の差の二倍} \\
 & 95, \div 4 = 23,75 \text{後丈} & 23,75 + 5, = 28,75 \text{前丈} \\
 & & \text{前後の差}
 \end{aligned}$$

○幅一尺三寸、長さ二丈四尺五寸の布を以て、五六歳の子供羽織二枚の裁合方及積方。(第九十三圖)

積方。袖丈の八倍と袖口の二寸及前後の差の二倍とを總尺より減じ、残りを四にて除せば、後丈を得、後丈に前後の差を加ふれば、前丈を得るなり。

○幅一尺三寸、長さ二丈三尺の布を以て、三つ身羽織二枚の裁合方及積方。(第九十四圖)

積方。袖丈の八倍を總尺より減じ、其残りより前後の差の二倍即一尺を減じ、残りを四にて除せば、後丈を得、後丈に前後の差を加ふれば、前丈を得るなり。

○幅一尺七寸、長さ一丈四尺の布を以て、女羽織の裁方及積方。積方。袖丈の二倍を總尺より減じ、其残りより前後の差の八寸を減じ、残りを二にて除せば、後丈を得、後丈に前後の差八寸を加ふれば、前丈を得るなり。

圖 四 十 九 第

レ	キ	チ	マ	チ	マ	ロ	ソ	リ	エ	ソ	エ	ロ
ヘ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ソ	ソ	ソ	ソ	ソ	ソ	ソ
マ	ロ	マ	マ	マ	マ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
ウ	マ	マ	マ	マ	マ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
シ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
ロ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ

八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分

五袖
寸丈
一尺

式

袖丈
15, × 8, = 120,

230, - 120, = 110,

110, - 10, = 100,
前後の差二倍

100, ÷ 4 = 25, 後丈

25, + 5, = 30, 前丈
前後の差

圖 五 十 九 第

前	後	袖	袖	九 五
ロ	ロ	ロ	ロ	七 五
前	後	衿		

八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分
八分

一前
寸丈
四尺

五後
寸丈
三尺

二衿
寸丈
六尺

五袖
寸丈
五分

式

袖
15, 5 × 4, = 62,

140, - 62, = 78,

78, - 8, = 70,
前後の差

70, ÷ 2 = 35, 後丈

35, + 8, = 43, 前丈

○幅二尺、長さ一丈一尺の片面物を以て、女羽織の裁方及積方。

積方。 總尺より前後の差五寸を減じ、残りを三にて除せば、後丈を得、又後丈に前後の差五寸を加ふれば、前丈を得るなり。

○幅一尺六寸、長さ一丈五尺一寸の布を以て、女羽織の裁方及積方。(第九十七圖)

積方。 袖丈の四倍と、前後の差五寸とを總尺より減じ、残りを二にて除せば、後丈を得、又後丈に前後の差五寸を加ふれば、前丈を得るなり。

○幅二尺一寸、長さ一丈一尺の片面物を以て、男羽織表の裁方及積方。(第九十八圖)

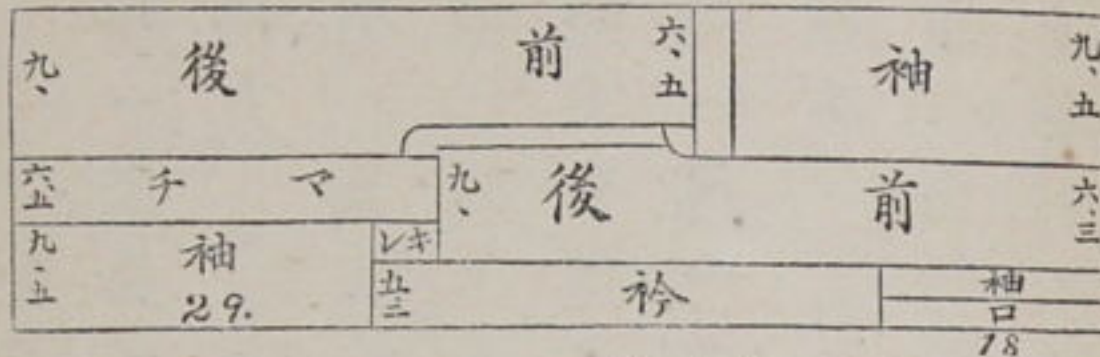
積方。 總尺より前後の差五寸を減じ、残りを三にて除せば後丈を得、後丈に前後の差五寸を加ふれば前丈を得るなり。

○幅三尺、長さ一丈四尺を以て、單羽織二枚の裁合方及積方。

積方。

袖丈の二倍と前後の差の二倍とを總尺より減じ、残りを

圖八十九第



袖丈一尺六寸
 四寸五分
 七分
 二寸
 二寸

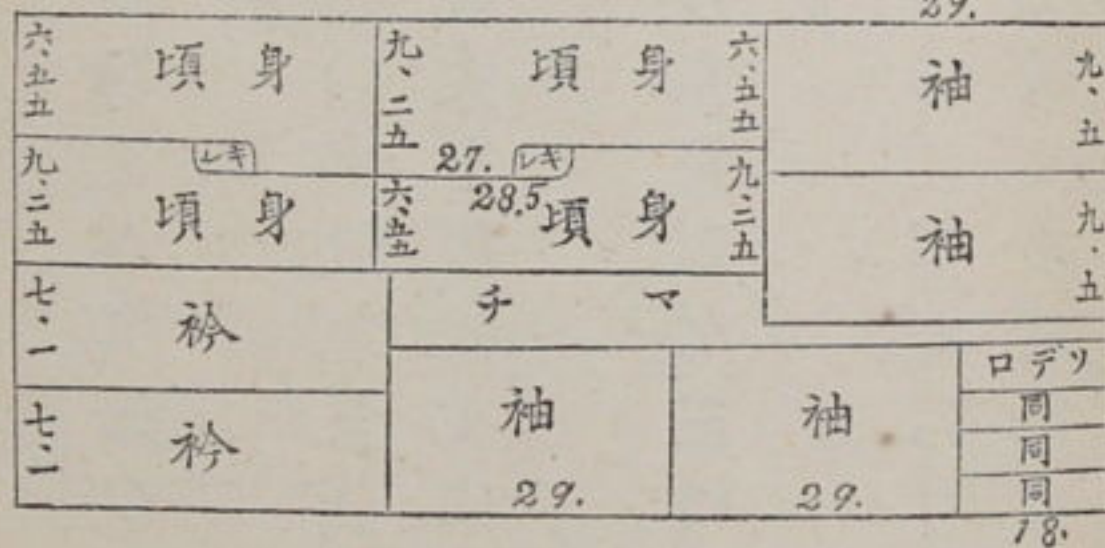
算式

$$110, - 5, = 105, \quad 105, \div 3 = 35, \text{後丈}$$

前後の差

$$35, + 5, = 40, \text{前丈}$$

圖九十九第



四寸六尺

袖丈一尺五分

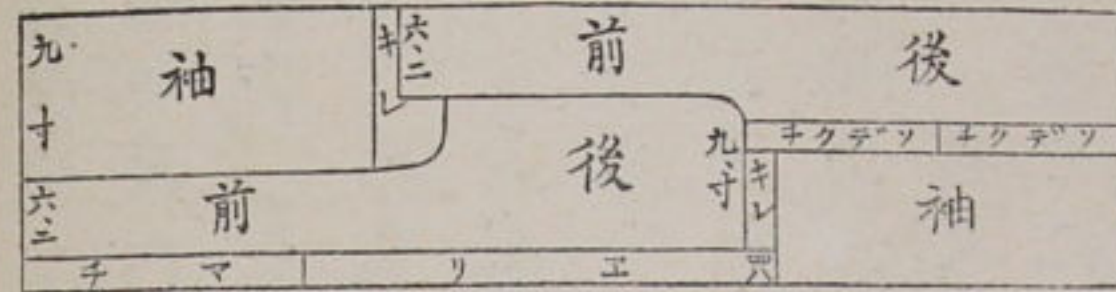
算式

$$14,5 \times 2 = 29, \quad 1,5 \times 2 = 3, \text{前後の差}$$

$$140, - 29, - 3, = 108, \quad 108, \div 4 = 27, \text{後丈}$$

$$27, + 1,5 = 28,5 \text{前丈}$$

圖六十九第



衿丈六尺
 衿肩二寸八分

袖丈一尺六寸

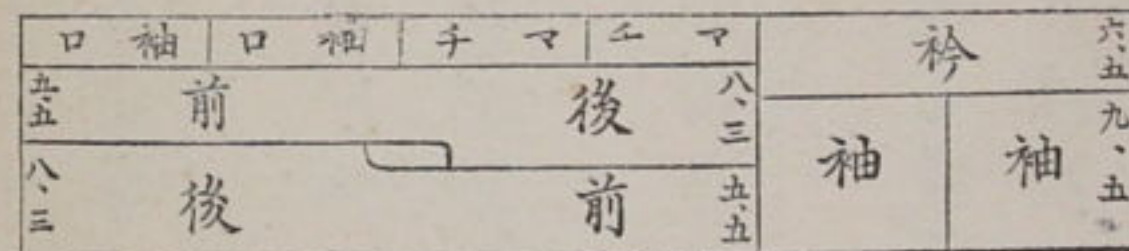
算式

$$110, - 5, = 105, \quad 105, \div 3 = 35, \text{後丈}$$

前後の差

$$35, + 5, = 40, \text{前丈}$$

圖七十九第



衿肩二寸八分

前丈四尺五分

後丈四尺

袖丈一尺六寸

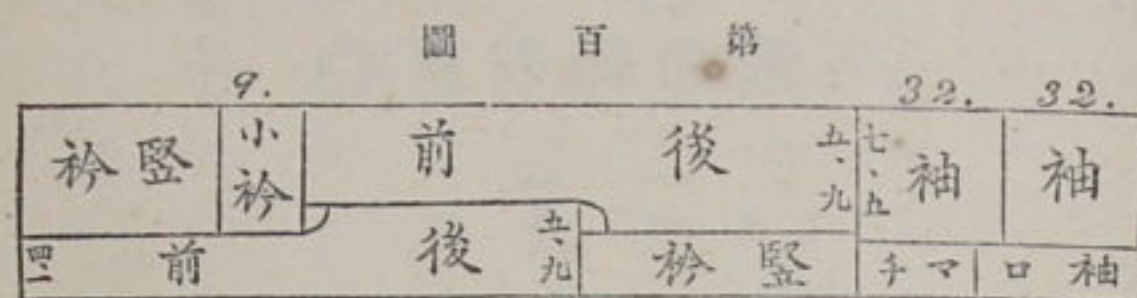
算式

$$16, \times 4 = 64, \quad 151, - 64, = 87,$$

$$87, - 5, = 82, \quad 82, \div 2 = 41, \text{後丈}$$

前後の差

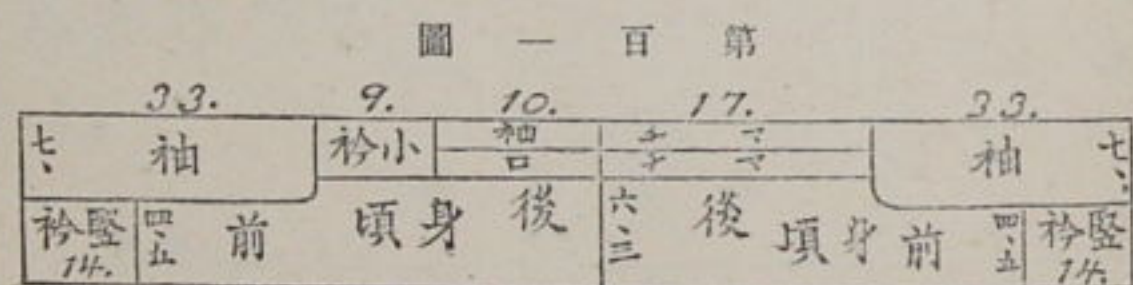
$$41, + 5, = 46, \text{前丈}$$



袖丈一尺六寸
小衿丈九寸
衿肩一寸八分

算 式

袖 $16, \times 4 = 64,$	$140, - 64, = 76,$
$1, \times 3 = 3,$	$76, - 3, = 73,$
前後の差の半分 $73, \div 3 = 24,3$ 後丈	$24,3 + 2, = 26,3$ 前丈



袖丈一尺五分
衿肩一寸
八分
後丈一尺
七寸
前丈九寸

算 式

豎衿 $14, \times 2 = 28,$	$100, - 28, - 4, = 58,$
$68, \div 4 = 17,$ 後丈	$17, + 2, = 19,$ 前丈 前後の差

四にて除せば、後丈を得、後丈に前後の差を加ふれば前丈を得るなり。

○幅一尺、長さ一丈四尺の片面物を以て、三つ身被布の裁方及積方。(第百圖)

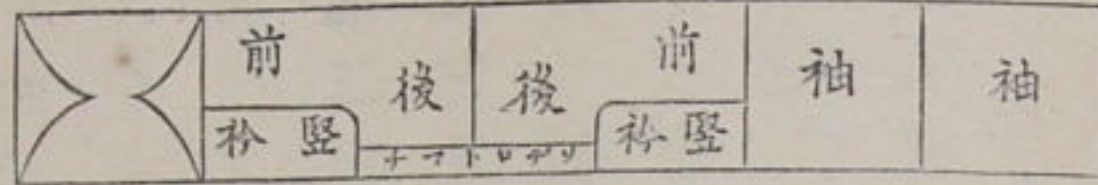
積方。袖丈の四倍及前後の差の半分を三倍せしものを總尺より減じ、残りを三にて除せば後丈を得、後丈に前後の差を加ふれば前丈を得るなり。

○幅一尺一寸五分、長さ一丈の布を以て、三つ身被布の裁方及積方。(第百一圖)

積方。豎衿の二倍及前後の差の二倍(即四寸)を總尺より減じ、残りを四にて除せば、後丈を得、又後丈に前後の差を加ふれば、前丈を得るなり。

○常幅長一丈八尺の布を以て、四つ身被布の裁方及積方。(第百六圖)

圖 六 百 第

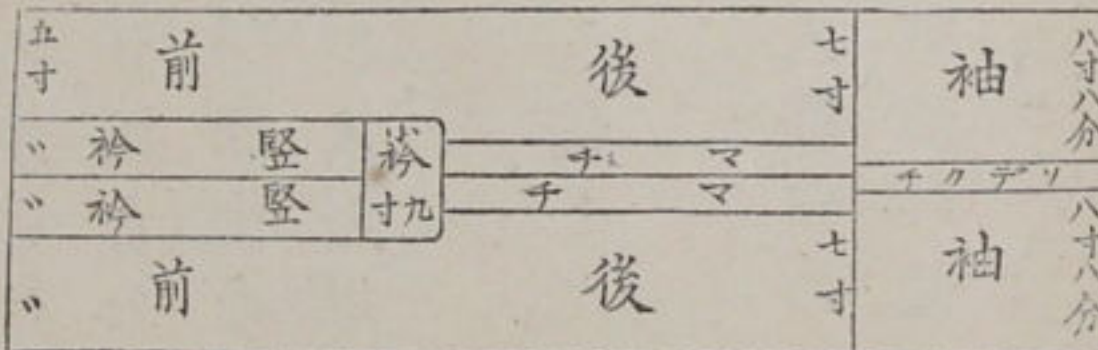


袖丈一尺六寸
袖口一尺三寸
衿肩一寸八分
小衿九寸

算 式

袖丈 $16 \times 4 = 64,$ 總尺 $180, - 64, - 9, - 4, = 103,$
 前のの倍 小衿 後差二
 $103 \div 4 = 25,75$ 後丈 $25,75 + 2, = 27,75$ 前丈

圖 七 百 第

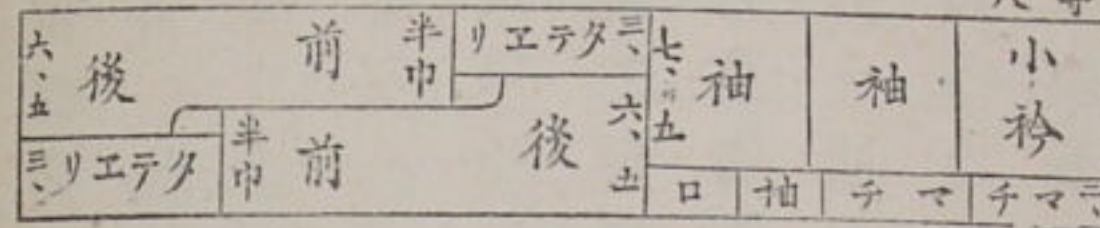


袖丈一尺六寸
後丈二尺七寸
衿肩二寸
前丈二尺九寸

算 式

袖丈 $16 \times 2 = 32,$ 總尺 $88, - 32, = 56,$
 前を長くなす分
 $56, - 2, = 54,$ $54 \div 2 = 27,$ 後丈
 $27, + 2, = 29,$ 前丈

圖 四 百 第

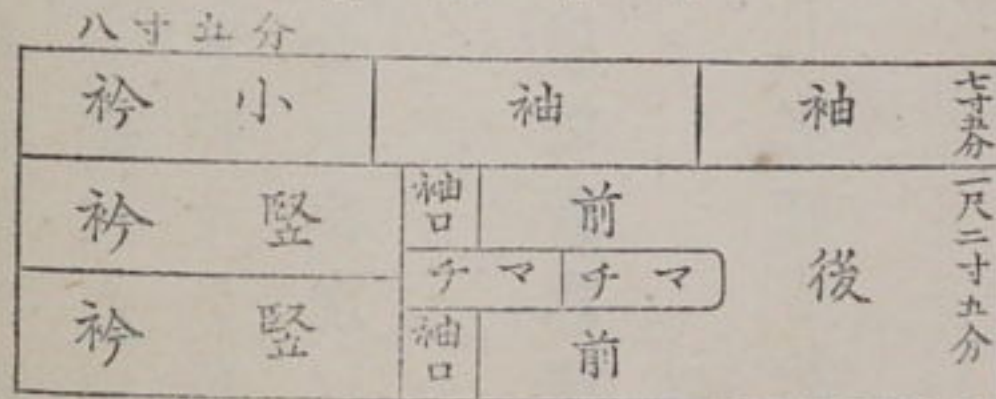


袖丈一尺五寸
袖口一尺二寸
衿肩一寸七分
小衿九寸

算 式

袖丈 $15 \times 4 = 60,$ 總尺 $140, - 60, - 8, = 72,$
 前下の分 小衿
 $72, - 4, = 68,$ $68 \div 3 = 22,6$ 後丈
 $22,6 + 2, = 24,6$ 前丈

圖 五 百 第



袖丈一尺五寸
袖幅七寸五分
後丈二尺
前丈二尺五寸
衿の丈一尺
四寸
袖口一尺一寸

算 式

袖丈 $15,5 \times 4 = 62,$ 小衿 $62, + 8, = 70,$ 用布

分、小衿丈は豎衿下の二倍、小衿幅は小衿の丈の三分の一、前下七分の出来上りなり。

て小針に縫ひ、裏の方に折りを付け、躰絲をかけて、綿を入れ、引き

第百八圖

ウシロ	マ	マ	ウシロ	小	豎	豎	袖	袖
チ	マ	袖	チ	衿	衿	衿	丈	丈
五	八	一	九	後	三	三	七	袖
寸	寸	寸	寸	丈	寸	寸	寸	丈
口	分	肩	丈	三	寸	二	二	一
一	二	二	尺	尺	尺	尺	尺	尺
尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺

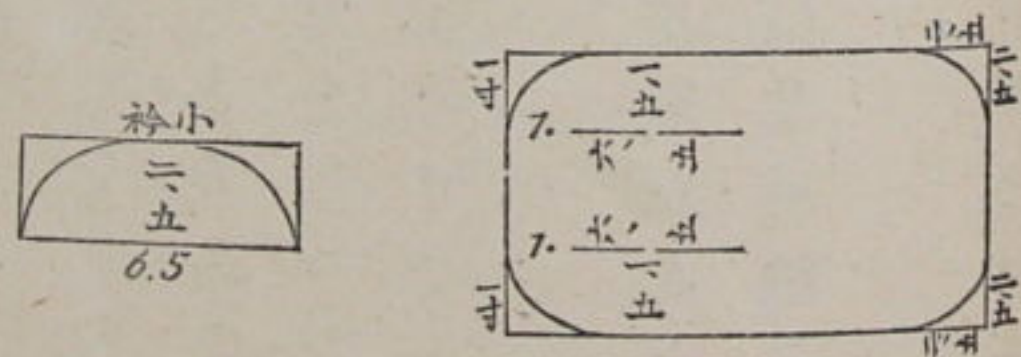
算式
 $17 \times 4 = 64$
 方め定の丈衿豎
 法寸り上丈身後

$26 + 1 = 27$ (前下)
 $21 + 2.5 = 23.5$ (豎の下縫衿前と代)
 $27 - 6 = 21$ (豎衿下)
 $23.5 \times 2 = 47$

方め定の丈衿小

$6 \times 2 = 12$ (縫代)
 $12 + 1 = 13$ (縫代)
 $285 - 68 - 47 - 13 - 4 = 153$ (前後の差の二倍)
 $153 \div 4 = 38.25$ (後身丈)
 $38.25 + 2 = 40.25$ (前身丈)

第百九圖



積方。袖丈一尺六寸を四倍し、六尺四寸を得、總尺の内より袖の六尺四寸と、小衿の九寸と、前後の差の四寸とを減じ、一丈三寸を得、之を四除せば、二尺五寸七分五厘となる、即後丈なり、之に二寸を加へ、二尺七寸七分七厘を得、即前丈なり。

○幅二尺長さ八尺八寸のメリンスを以て、子供(七八歳)被布の裁方及積方。(第百七圖)

積方。袖丈に後丈を加へ、之を二倍して前下の二寸を加へ、八尺八寸となる、即用布なり。

○常幅二丈八尺五寸を以て、大人被布の裁方及積方。(第百八圖)

○常幅長さ一尺三寸を以て、丸胴着の裁方及縫方。(第百九圖)

但裏表共長さ同じ、故に二枚重ねて裁つなり。

縫方。縫方は、肩と前の脇の處を残し、其他は一分の縫代になし

返して前の脇を衿け、又紐を肩より四寸五分下りて付け、次に裏の方に小衿を付け、表の方に衿付くるなり。

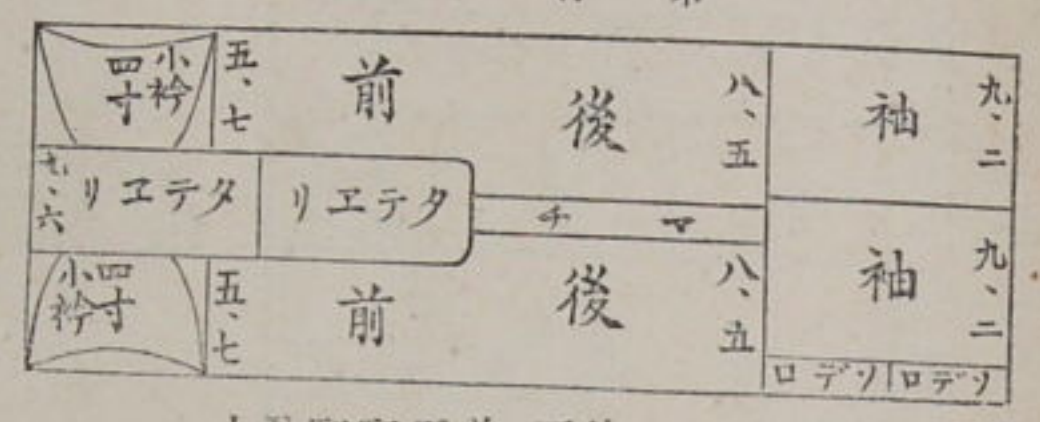
○幅二尺長さ一丈一尺を以て、大人被布の裁方及積方。(第百十圖)

積方。袖丈一尺五寸の二倍を一丈一尺の内より減じ、又其内より前下と小衿の切一尺五寸とを減ずれば六尺五寸となる、之を二除せば、三尺二寸五分となる、即後丈なり、之に二寸を加へ三尺四寸五分となる、これ前丈なり、前身頃の端より一尺三寸づゝ裁切りて之を小衿となすなり。

○幅二尺一寸長さ一丈一尺の布を以て、衿の被布を裁ねんとするに、袖丈一尺四寸五分、身丈二尺五寸になせば、其裏地二幅物にて幾許を要するか。(第一一頁下段算式参照)

積方。袖丈一尺四寸五分へ、身丈二尺五寸を加へ、三尺九寸五分

第百十圖



袖丈一尺五寸
 後丈三尺二寸五分
 前丈三尺四寸五分
 立衿二尺三寸
 立衿幅九寸六分
 小衿一尺三寸

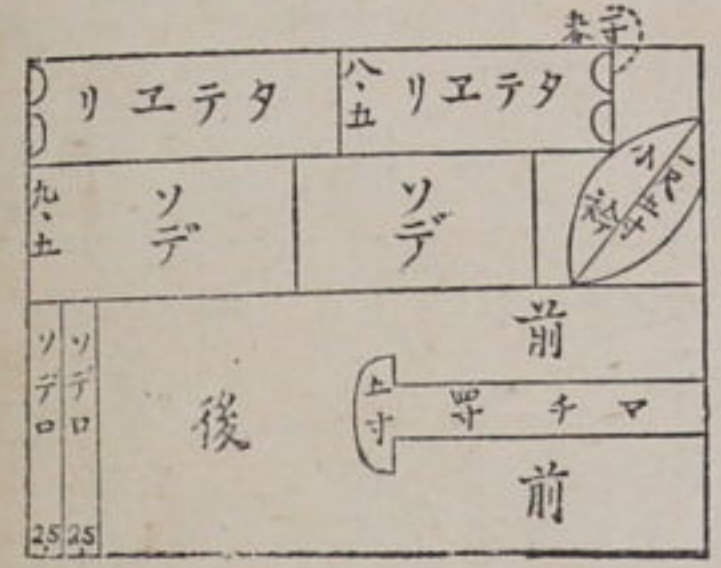
算式
 袖 15, × 2 = 30,
 80, - 15, = 65,
 32,5 + 2, = 34,5前丈
 總尺 110, - 30, = 80,
 65, ÷ 2 = 32,5後丈

算式
 袖 14,5 + 25, = 39,5
 39,5 × 4 = 158,
 158, + 85, + 13, = 179,5
 179,5 - 110, = 69,5
 表地 裏地

を得、之を四倍して一丈五尺八寸となる、之に縫代及前下の七寸五分と、小衿の一尺三寸とを加ふれば一丈七尺八寸五分となる、

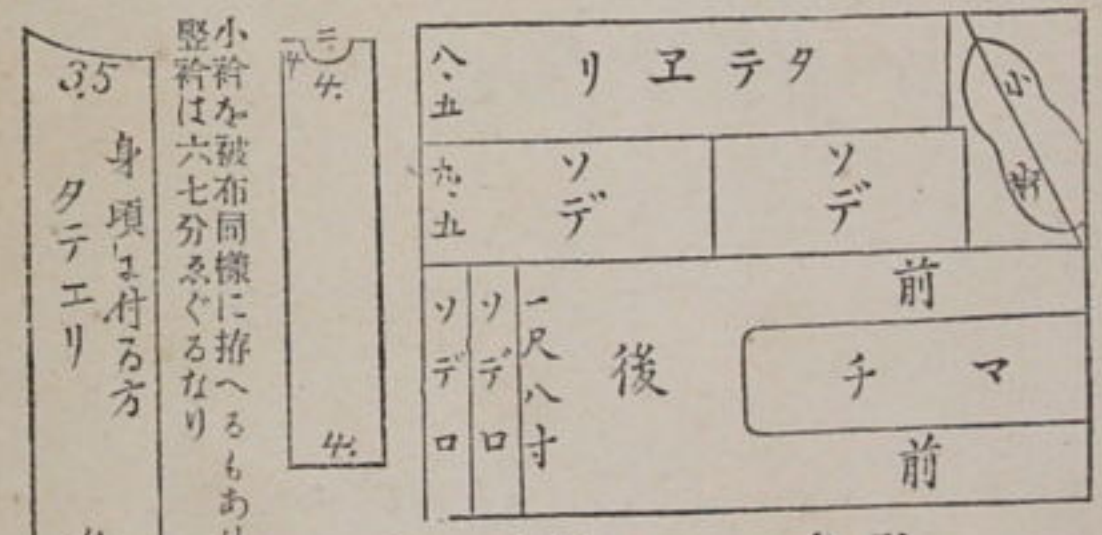
此内より表の一丈一尺を減じ、裏地の用布を得るなり。

圖一十百第



袖丈一尺六寸
身丈二尺七寸
五分
堅衿丈三尺七寸
堅衿は肩より一寸五分下りて付くるなり。

圖二十百第



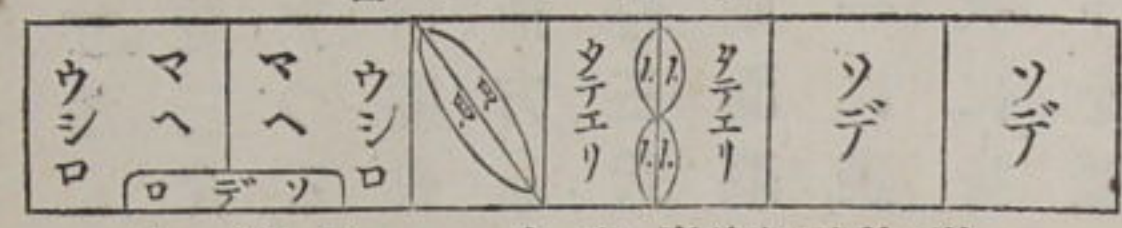
袖丈一尺七寸
身丈三尺九寸
堅衿は肩より五寸下りて付くるなり。

3.5 身頃を付る方
タテエリ
小衿を被布同様に拵へるもあり
堅衿は六七分余るなり

被布仕立 堅衿地圖

○幅三尺六寸、長さ八尺の布を以て、吾妻コートの裁方。(第百十一圖)

圖三十百第

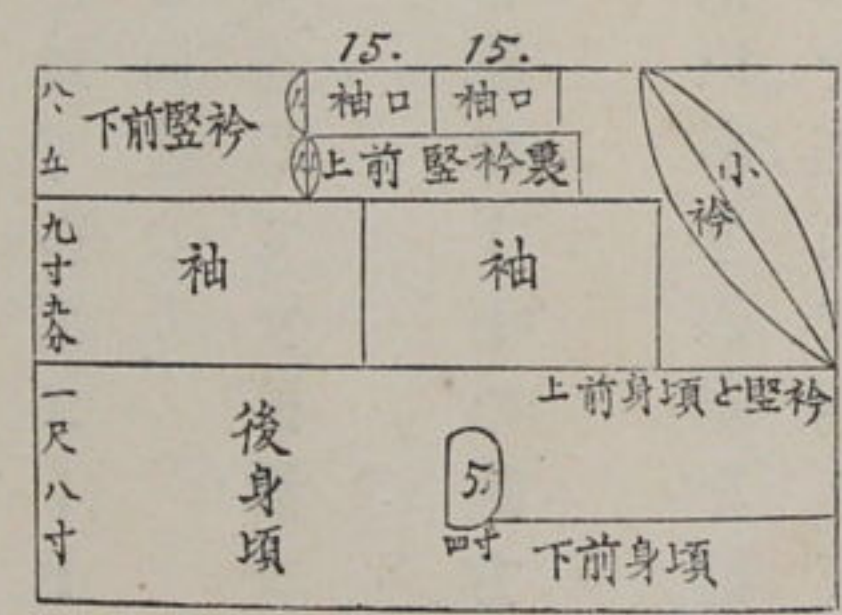


袖丈一尺七寸
仕立る寸法に
被布と同様に
れども裾口前
後共五分づい
廣くする。○
堅衿三尺五寸
小衿一尺五寸

算式

袖丈 17, × 4 = 68,
222, + 68, + 12, = 302,
小衿
身丈 37, × 6 = 222,
302, - 4, = 298, 用布

圖四十百第



衿肩二寸五分
頸五寸
身丈三尺四寸
袖丈九尺五寸
袖幅九寸五分
堅衿丈三尺一
寸
小衿丈一尺五寸
同幅三寸

算式

身丈 35, × 2 = 70, 用布

吾妻コート(一名塵除)を仕立る寸法は、身丈を着物と同様に、其他は寸法も縫方も被布同様なり。

○幅三尺六寸、長さ七尺五寸を以て、吾妻コートの裁方。(第百十二圖) 仕立つる寸法及縫方は被布と同様なり。

○常幅長さ二丈九尺二寸の布を以て、女吾妻コートの裁方及積方。(第百十三圖)

○幅三尺六寸の布を以て、女吾妻コートの裁方及積方。(第百十四圖)

○両面羽織の縫方。

第一に表袖と裏袖とを揃へ、袖口あきの處を縫ひ、袖幅の印を付け、次に身頃の裾口を縫合せ、之を左右に開きて烙鏝を懸け、次に前下を縫ひ、次に背を縫ひ、次に裏の方に表衿を、表の方に裏衿を縫付け、次に左右の後襠を付け、次に裏表の袖を付け、次に袖口を

四つ止めになして袂の角まで縫ひ、次に袖付を止め、袖下を縫ひ、次に袖口と裾口とを毛抜合せに折りを付け、衿並に袖口と裾口とに躰を懸け、又火熨斗を懸くるなり。

注意 紐付は裏と表に付け、裏と表と同様なる品なれば前下の處にて繼ぎ、衿も後の裾口もはぎなし。

○両面の口綿入或は綿入着物の仕立方。

第一に袖口布を幅一寸位に裁切り、之を裏袖の袖口明きの處に縫付け、(但袖口の始めと終りは、袖口の切を二分)それより袖付迄縫廻し、袂を拵へ躰を懸け、次に表袖は通常の如く縫ひ、次に身頃、裏、表とも通常の如く縫ひ、(但半纏なれば直に裾口を合せ)次に裾の襷切は襷の二倍丈に裁切り、之を表と裏との裾口に縫付け、裾先は裏表共通常の如く縫ひ、隠躰を懸け、次に裾口并に裾下、衽先などに、躰を

かけ、總方の縫目に裏の方より烙鏝を懸け、次に綿入なれば、通常
の如く綿を入れ、又通常の如く紵るなり。
(但衿は衿幅の山にて縫
ぎ其縫込を左右に開き
て烙鏝を懸
くるなり)

○道行を仕立つる寸法並に縫方。

仕立つる寸法は、（但衿は衿幅の山にて縫
ぎ其縫込を左右に開き
て烙鏝を懸
くるなり） 懸衿を衿肩より男物なれば六寸下げ、女物なれ
ば七寸下げて付け、小衿幅は何れも七八分にす、男物は小衿の先
きと衿肩より二三寸、女物は四寸下りし處に紐を付くるの違あ
り、他は羽織を仕立つる寸法と同様なり、縫方は單物（ひともの）なれば前身
頃を豎衿にくるみて縫ひ、衿なれば豎衿を前身頃にくるみて縫
ひ、綿入なれば前身頃の表の方に豎衿を縫付け、其縫込は、豎衿の
方に折りを付くべし、其他は總て羽織と同様になすなり。

○極上仕立總落し單羽織の縫方。

第一に共切のほつしか、或はスガ絲をほつして共色に染め、針の
目と布の目とを同様にし、袖の縫込は一分位に裁落して、其裁目
の端を折り、布目と同様に縫付け、次に脊縫を同様になし、次に衿
を付け、次に前後の襠を布目同様の針目に縫付け、縫込の切は一
分の縫込に裁落し、其裁目の端を折りて紵付け、次に袖を付け、前
の如く縫込を裁落して紵付け、次に裾口も五厘位の捻紵（よぢ）になす
なり、之を總落しの單羽織或は両面の單羽織仕立方と云ふ、兩面
なれば紐付を裏と表とに付くるなり。
(但此類の羽織は重に壽寄屋
并に明石或は紗などを用ふ)

○總割仕立羽織の縫方。

第一袖口を懸け、次に袖口あきを合せ、袖幅の印を付け、次に表と
裏との胴縫を返縫になすか、或は小針になし、左右に開きて烙鏝
をかけ、
(但裏地のうすき時は裏の方に
半紙などを當て、縫ふべし)次に紋付なれば、紋を合せ、表と

裏の脊を返縫かへしか、或は小針に縫ひ、左右に開きて鏝をかけ、次に表と裏の脊を綴ぢ（但裏表共縫込を）左右に開き烙鏝をかけ、次に前下を縫ひ、襠は下を二寸、上を三分位の幅になして前後の身頃に縫付け、是も左右に開きて烙鏝をかけ、次に袖口明を止め、それより袂の角迄縫ひ、次に袖付の處は襠を合羽付になし、袂を拵へ、袖形の處に眞綿を少しく入れ、脊縫井に襠の縫目は裏と表とを揃へて綴ぢ、次に衿を付け、又拵付け、衿及袖前下などに鏝を懸け、火熨斗を懸け置くなり。

○本重ほんがらの縫方。

第一に上着の袖と袖口布とを縫合せ、次に口明きを止め、袖口布の丈のある處まで縫ひ置き、次に袖口の切を表の方に裁目の儘綴付け、次に下着の袖は、上着の袖と同様の處迄縫ひ、次に袖口の

端を折り、袖の方に之を拵付け、次に上着の裏と下着の表とを合せ、袖口より下を四つ縫になし、次に袖幅の印を付け、又其處に折りを付け、袖下を四つ縫になし、袖形を拵へ、其縫目は表の方に返し、之を引き返し、雙方の縫目を正しくなし、鏝をかけ、八つ口は表の方に小さく二針づゝ出し、針目を一寸位になして綴付け、（袖下を縫ふ前に八つ口を裕の様に縫ふも良し）次に下着の裾の幅を三分位に三つ折りになし、之を裏の方に拵付け、次に衿肩を右に持ち、表の方に縫目を出す様に脊を縫ひ、其縫目は自分の向ふの方に返し、次に後幅と肩幅との印を付け、其所に折りを付けて脇縫をなし、其縫目は前身頃の方に折りを付け、次に上着の身頃をとり、衿肩を右に持ち、脊縫をなし、其折目は自分の方に返し、後幅及肩幅の印を付け、其處に折りを付け、脇縫をなし、其折目は前身頃の方に返し、次に裾口を

幅三分位に三つ折になし、針目を三分位にして之を紵付け、次に上着と下着との間にて脊と脇の縫目を綴ぢ、身の八つ口の處は上着と下着とを共に止めて縫ひ、次に袖付の處を袖と身頃とを四枚ともに極めてあさく絲止めをなして、二針三針返縫になし、それより上の方は、身頃を一分の縫代に折りて袖を少しくゆるく縫付け、其縫目は袖の方に折りを付け、次に下着の身頃に下着の袖を縫付け、若し袖幅に縫込あるときは、袖の方を一分の縫代に折り、之を縫付け、其縫目は身頃の方に返し、前幅を揃へて衽を付くべき通りに躰を以て裾口より衿肩の方迄綴付け、前幅と抱幅、及抱と裾との中間の幅にも印を付け、其處に折りを付け、次に衽の布をとり、裾先を額椽になして裾口及衿下を裾口より五寸上りし所まで上着下着とも之を紵け、上着の衽を上着の方に當

て、下着の衽は下着の方に當て、衽を以て身頃を挟み、之を四つ縫になし、其縫目は表の方に折りを付け、縫目を正しくなし、裾下印の一寸上より裾口の五寸上りし處まで、上着と下着との裾下を共に紵付け、衽幅をよく揃へ、躰を以て之を綴付け、次に上着の衿先を縫ひ、次に上着の方は、上着の表衿と裏衿と下着の表衿とを合せて三枚當て、之を以て身頃を挟み、脊縫より左右に衿を付け下し、次に下着の衿先は一分中を縫ひ、其縫目は裏の方に返して衿の縫目に綴付け、衿付の縫目は、表の方に折りを付け、表の方を見て縫目を正しくなし、衿幅の印を付け、裏衿は表より一分狭く折りを付け、前身頃と衽との縫込を斜に程よく引伸して、衿先を裙形の様になして之を紵け、裾先の處は幅三寸、豎三寸五分にし、其處を斜に線を引き、白の絹絲を二本になして、表の方に小さ

く二針づゝ出して、針目を一寸位に上着と下着との間にて之を綴付け、裾口は上下共に襷を懸け、次に火熨斗を懸け、之を疊み置くなり。但上着の衿には別布を心に入るゝなり。

○本比翼の縫方。

比翼の縫方は、先づ通常の如くに表袖を縫ひ、襷を懸け、袖幅を度り、次に裏袖に袖口を懸け、袖下は袖付の方にて二寸の間丈二分つめて縫ひ、烙^て鏝^こを當て、袖幅を度り、次に比翼の表袖の口先に襷糸を懸け、裏袖口布の山に一分程稜を取りて裏袖口より表を幅五六分去りて共に縫付け、次に八つ口の切は、表の奥の方より口の方を丈二分つめて縫ひ、然して裏と表とを揃へ、奥になる處の端を縫付け、次に裏の方に綿を程能く置き、之と共に八つ口を縫ひ、襷を懸け、次に袖口は裏袖の處に合せて、針目一寸位にて裏袖

の表に針目を出さず綴付け、次に裏身頃の胴裏を通常の如くに縫ひ、又裾廻しの脊と脇とを縫ひ、次に下着の裾口を縫合せ、次に胴繼は裾廻し三枚と胴の切一枚とを縫付け、折目は胴の方に返して襷を懸け、次に前幅と抱幅、及其中間を度りて、下着の方は裾口にて幅を二分つめ、胴繼ぎの處にては上着の身幅と同様に印をなして折目を付け、次に下着の衿は裾を揃へ、次に衿を胴繼迄付け、それより上は胴一枚と衿三枚とを共に縫付け、次に劔先は縫込を身頃に綴付け、裏の縫目の出でたる方に、裏衿一枚に表の衿を一枚、又向ふに裏衿を一枚、其間に身頃を挟みて四枚とも縫ひ、衿先の處は裏の方に裏衿一枚と表衿一枚とを縫付け、他の裏衿一枚は、豎裾に縫付く、但衿先は丈四五寸の間は別々に縫ふなり、次に上着の裾口を縫合せ、裾を揃へ、裾口に一分きせを掛

けて躰を掛け、裾には隠躰を掛け、次にやつ口を普通綿入の如く縫ひ、次に袖を付くるなり、其附方は普通の如く身にて袖を挟み、裏表の身頃と袖と、裏表のやつ布と、都合六枚にて絲止めをなし、表袖は普通の如く付け、裏袖を付くる時、始めと終りは裏表やつ布丈のある所までは四枚にて縫ひ、其他は胴と袖と二枚にて縫ひ、折りは身頃の方に返し、次に表豎裾残らずに躰を掛け、次に裏表の衿幅印をなし、次に綿を入るゝなり。

綿の入れ方は、第一に衿肩の處より裾迄手を入れて引き返し、それより表の後ろの方に綿を置き、裾綿をくるみ、又表と裏との衿肩の處より裾迄手を入れ、裾口の綿とを共に持ち引返して、又前身頃と袖とに綿を置き、表の前身頃の方より袂に手を入れ、袖口と袂とを共に持ち、引返して、雙方引合すなり。但比翼の方は紵る

時は口綿の様に綿を入れながら紵るなり。

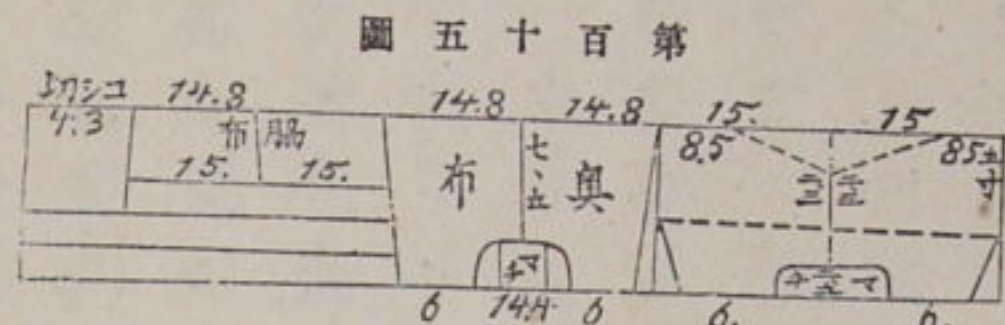
○火熨斗の使用法。

先づ火熨斗に火を入るゝに、火を豎に入れ、白紙に當て試み、然る後實物に用ふるなり、衣服に火熨斗を懸るに、先づ裏の左前より始め、裾口は襷の山をのし付けざる様に注意しながら、裾廻りより裏衿並に裏袖をのし、之を引返して右の表衿より裾廻り並に衿袖等をのして、疊みながらも双方に火熨斗を懸るなり。

注意 火熨斗を懸るに必ず白紙を當てゝなすべし。

○常幅九尺三寸五分を以て、五つ子袴の裁方及積方。(第百十五圖)
積方。 總尺より腰切四寸三分を減ずれば、八尺九寸二分となる、これに裁違ひの八分を加ふれば九尺となる、これを六にて除すれば後丈一尺五寸となるなり。

形六分



後布一尺五寸
 襠丈六寸幅い
 つは
 裁落し四分
 付菱襠丈
 いつばい
 付菱
 紐後一尺五寸
 前五尺以上
 紐幅一寸五分

算

式

總尺 腰切
 $93,5 - 4,3 = 89,2$

$89,2 + ,8 = 90,$

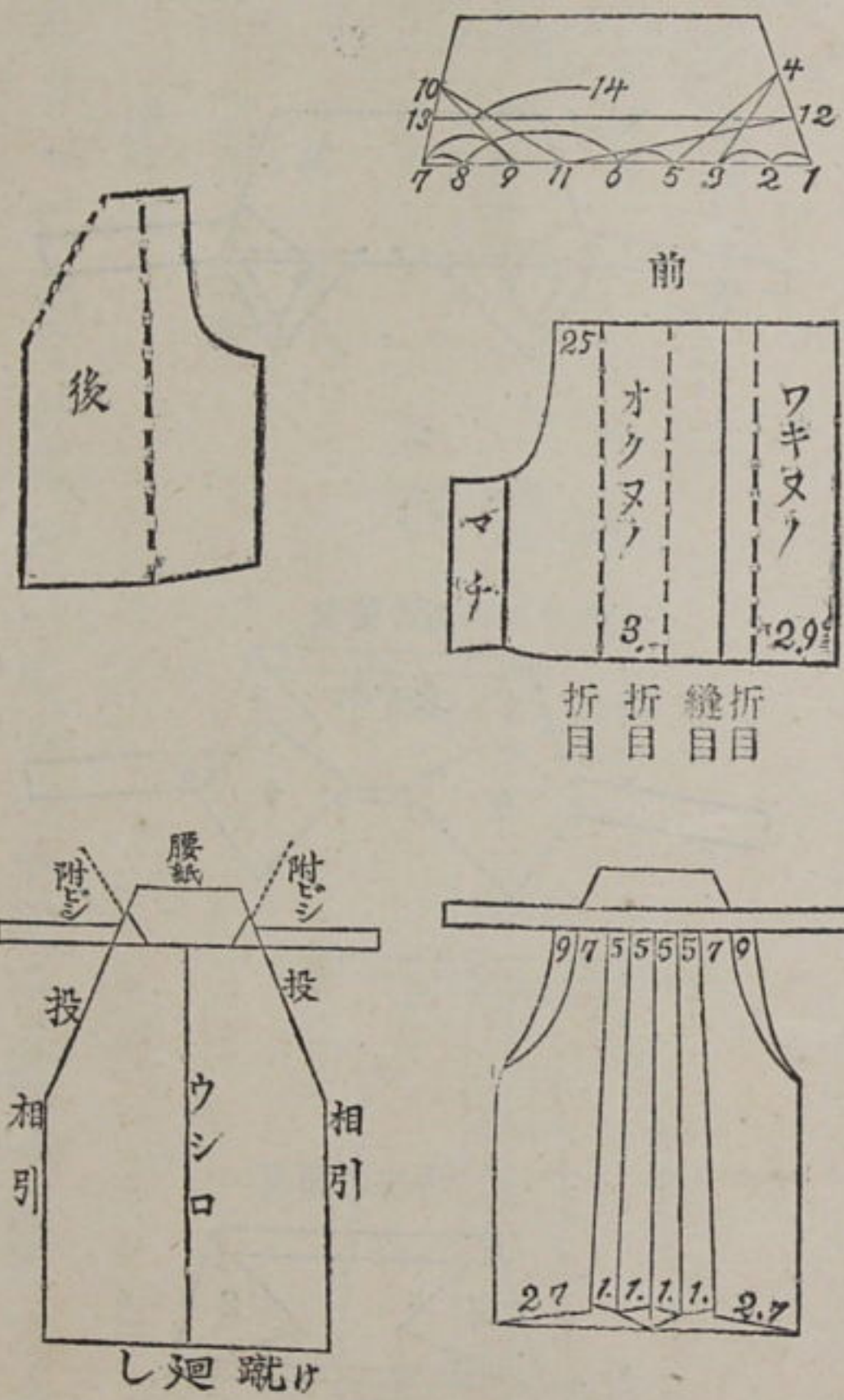
$90, \div 6 = 15,$ 後丈

○五つ子袴の縫方。

先づ投を紵け、次に後布に後襠を縫付け、折目は襠の方に返し、次に脇布と奥布とを縫付け、折目は奥布の方に返し、次に後襠と前襠とを縫付け、折目は前襠の方に返し、隠躰をなし、次に後布と前布とを合せて相引を縫ひ、折目は前の方に返し、次に裾口を幅二分五厘にして三つ折になして紵付け、(但後は幅印の所には、一分稜を取るなり、)次に勝を袋縫になし、次に後布は幅印の處に折りを付け、右後を上、左後を下になして躰を掛

け、次に前の脇相引の縫目より幅二寸七分離して、裾口より上まで眞直に折りを付け、次に懷の縫目より奥布の方に幅二寸五分離して折りを付け、次に其折目より三寸離して折りを付け、次に下の稜を幅一寸、上の稜を幅五分になして、順々に折り、次に筐稜は、始九分に折り、次に八分に折り、前幅を五寸五分、又は六寸になして、筐葉の様に折りて綴付け、又雙方の稜を亂さぬ様綴付け、次に相引の中間より五分程上に尺度を當て、折返し、又其裾口を五分程離して折返し、壓を置き、次に紐を紵け、次に腰紙を裁ち、次に紙をもみ、皺を伸して裏腰の切と付菱の切の四方の端に糊を付け、之を貼付け、次に腰紙の裏の上の方に糊を付け、表の腰切を貼付け、次に腰紙の表の下の方に糊を付け、腰切を貼付け、之を表の方に折返し、腰紙の角より二三厘はなれて能く折りを付け、幅

圖七十百第
方付縫の板腰

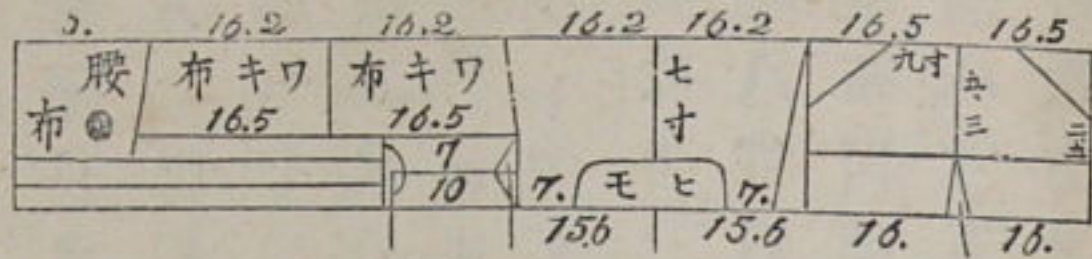


位に裁ち、これにて封じ置くなり。

三四分に紙を裁ち、之を細くよりて糊を付け、腰紙の角の處に入れて、腰切を裏の方に貼付け、次に付菱は、豎は眞直に折りを付け、横は三分程斜に折りを付け、之を腰紙の中程迄當て、裏の方に貼付け、次に前紐布の縞を合せて懸繼をなし、別布を心に入れ、紐丈の眞中を丈一尺程残して兩端を紵け、後紐は心地の入りし方を腰紙の表に出づる様にせんが爲一本は心地の手前に入れ、一本は向ふに入るゝ様になし、一方の先は縫ひ、一方の先は一寸程紵け残り置くなり。次に前紐に半紙ならば、幅一寸三分位になして八枚縫付け、之を紐下の印の處に二本絲にて縫付け、總て縫込の平になる様に紙或は切を入れて、紐を紵付け、次に腰紙に後紐を縫付け、次に後の方に腰紙を載せて、付菱の處は左右に待針を刺し、圖の如く縫付くるなり、次に紐を疊み、厚紙を幅四分或は五分

○常幅長さ一丈三寸の布を以て、七つ子袴の裁方及積方。(第百十九圖)
 注意 縫方は五つ子袴と同様なり。

圖九十百第



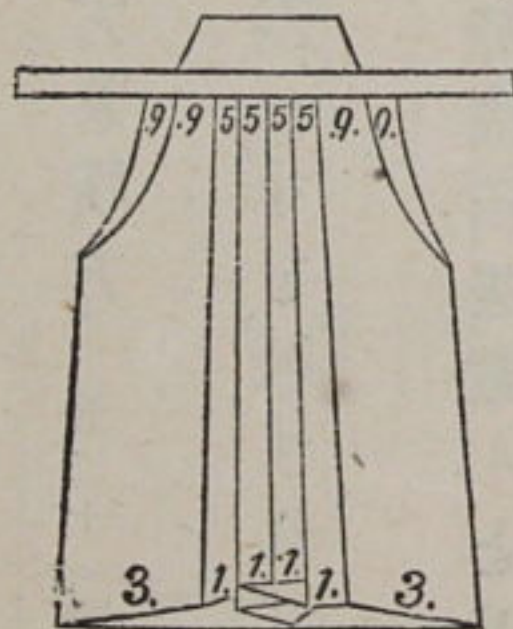
後布丈一尺六寸五分
 形五分
 裁落し六分
 奥布
 裁落三分
 後紐一尺四寸
 前紐六尺内外
 腰切五寸

算式

總尺 腰切
 $103, -5, =98,$

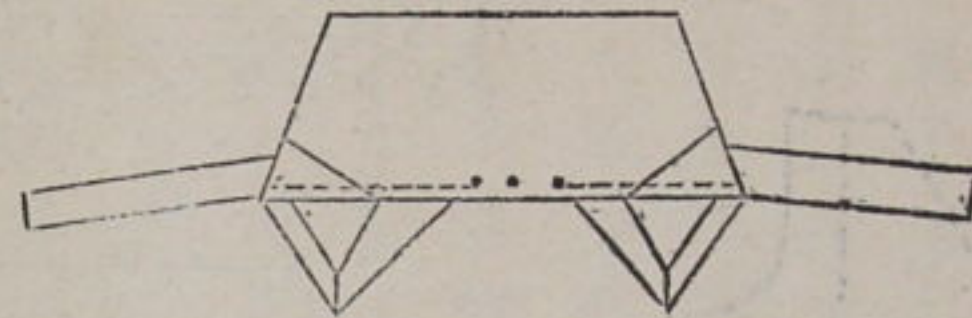
$98, +1,2 = 99,2$

裁違
 $99,2 \div 6 = 16,5$
 後丈

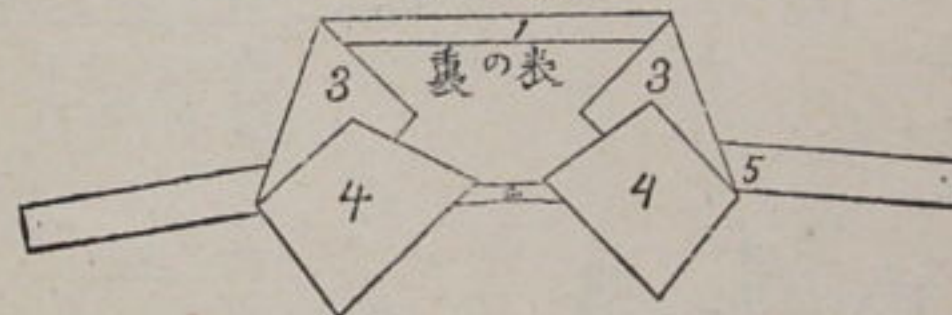


圖八十百第

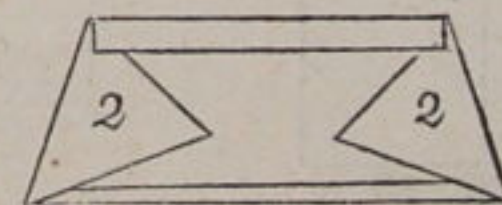
圖るた見を表



上折の腰表



方折の腰裏

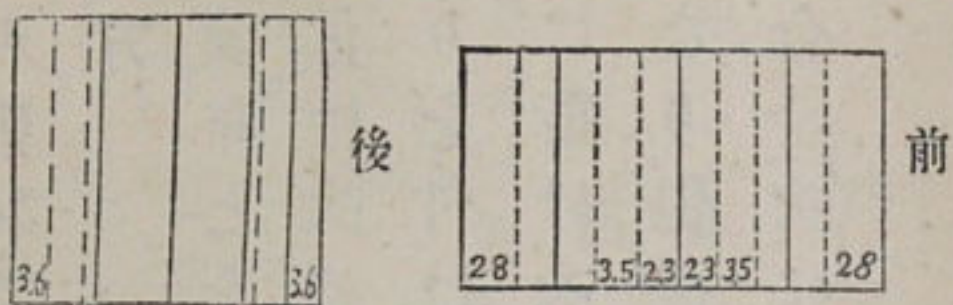


積方。總尺の内より紐布四尺と、後と前との差一布に付一寸五分宛の四倍、即六寸とを減ずれば其残一丈七尺四寸となるなり、之に裁込の一寸六分を加へて一丈七尺五寸六分を得、之を八に

圖 二 十 二 百 第

16.5	16.5	75.2	15.2	15.2	75.2	76.5
布	後	布	脇	奥	奥	後
ヒ	ヘ	後	紐	半	布	布
モ	ヘ					
26.9		36.		14.8		14.8

算式 分四形
 $16,5 \times 7 = 115,5$
 $115,5 - 5,2 = 110,3$ 用布



折二縫 二縫折
 目分目 分目目
 より より

折縫 縫 縫折
 目目 目 目目

圖 三 十 二 百 第

4.0	.8	.8					
ヒ	後	半	オ	オ	ワ	ワ	
モ	ヒ	ヘ	ク	ク	キ	キ	
モ	ヒ	ヘ	布	布	布	布	
			後	後	後	後	
			布	布	布	布	

算式
 總尺 紐 前後の差
 $220, - 40, - 6, = 174,$
 $175,6 \div 8 = 21,95$ 用丈
 $174, + 1,6 = 175,6$
 $21,95 + 1,5 = 23,45$ 後丈
 布後

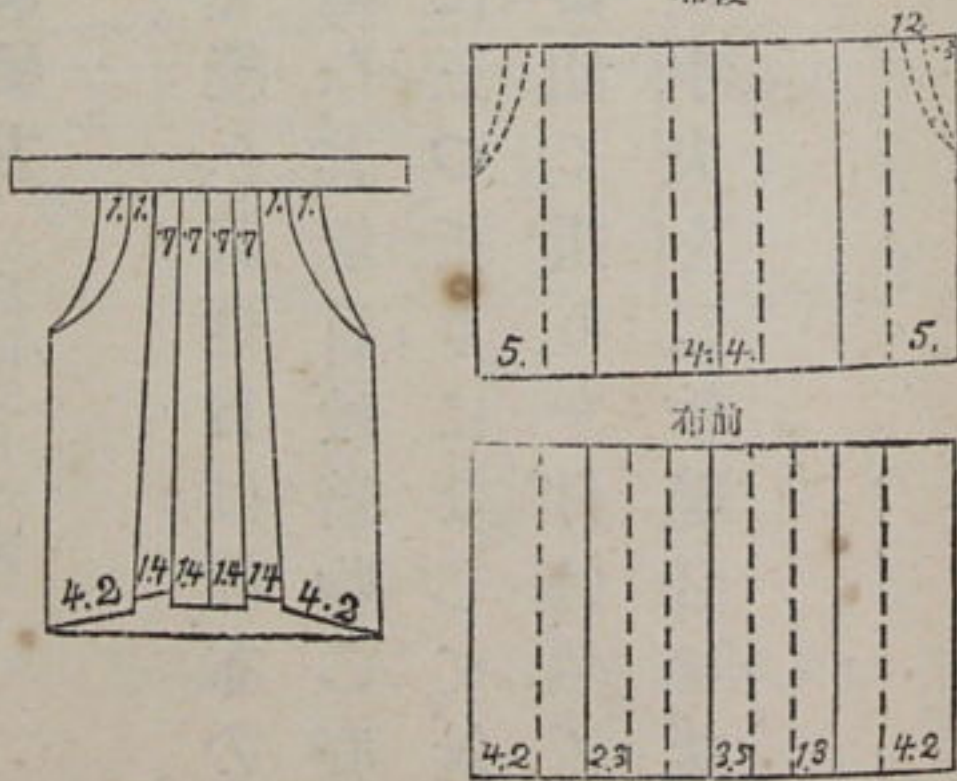
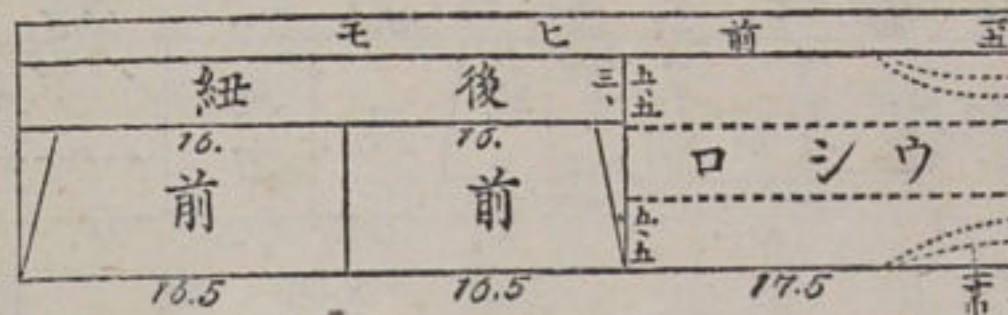
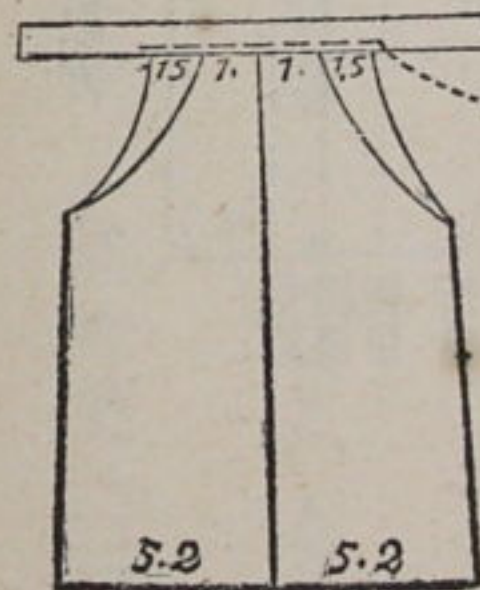
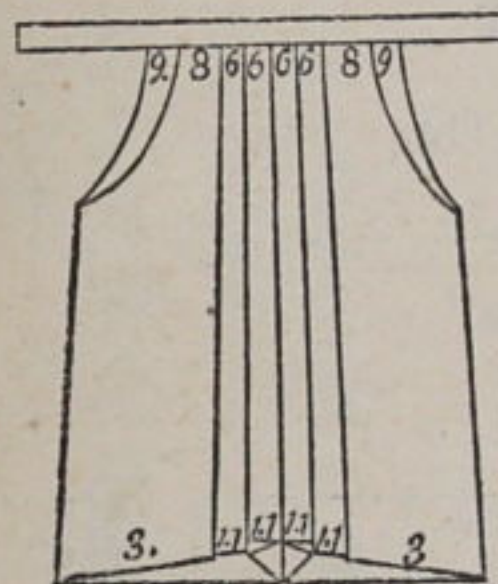


圖 一 十 二 百 第



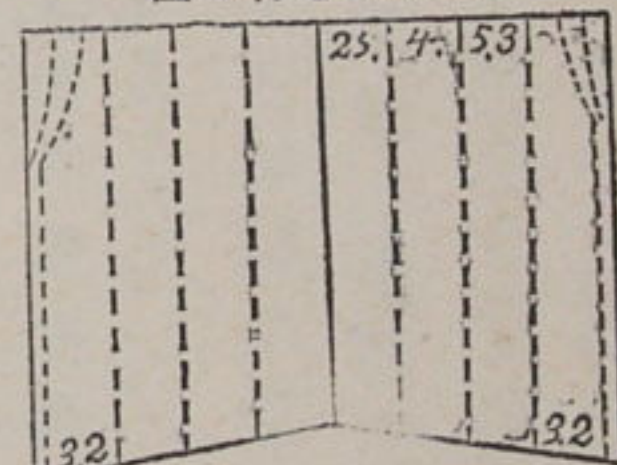
算式

後丈
 $17,5 \times 3 = 52,5$
 $52,5 - 2, = 50,5$ 用布
 前後の差



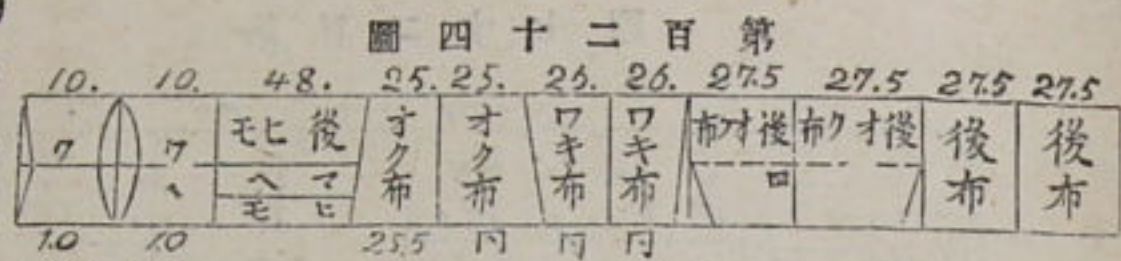
此絲は白太白絲を二本となす。

圖る付を析の稜



折折 折 縫 折 折
 目目 目 目 目 目

○常幅長さ一丈三尺の布を以て、十歳位の男兒馬乘袴の裁方及積方。(第百二十七圖)

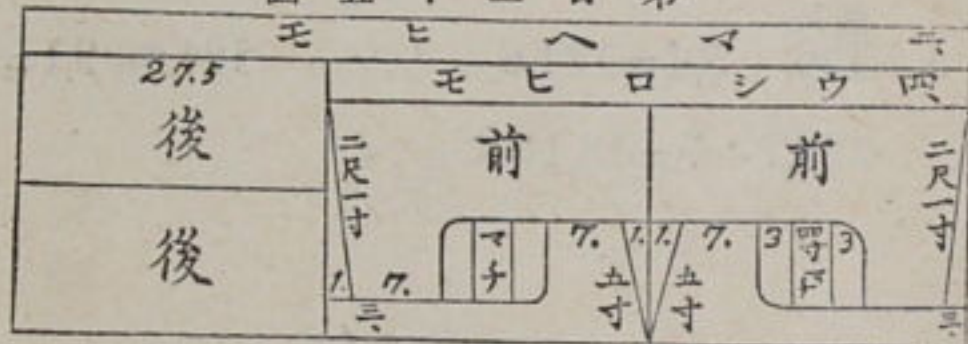


形五分 形五分
前襠 後襠

算

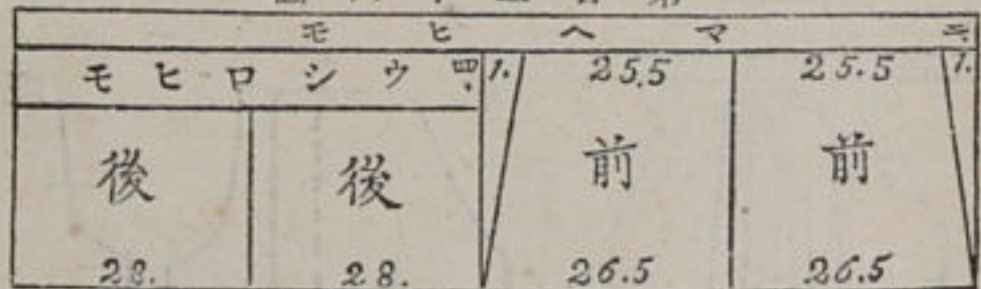
後布丈 $27,5 \times 8 = 220$, $220 + 48 + 10 + 10 = 288$,
 $288 - 8 = 280$ 用布

圖五十二百第



算式 $27,5 \times 3 = 82,5$ 用布
 後襠 七寸五分
 前後共七寸

圖六十二百第



算式 $28 \times 4 = 112$, $112 - 3 = 109$ 用布
 前後の差
 後大門腰
 前七つ稜

て除し、脇布の丈を得、之に五分を加へて後丈を得るなり。
 ○常幅の布を以て、女有襠袴の裁方及積方。(第百二十四圖)
 ○幅三尺の布を以て、女有襠袴の裁方及積方。(第百二十五圖)
 ○幅二尺のメリンスを以て、女袴の裁方及積方。(第百二十六圖)
 ○女袴の縫方。
 第一後布と前布とを合せて左右の相引を縫ひ、其縫目は前布の方に折りを付け、次に前布を合せて懷を縫ひ、其縫目は着物の脊縫の様に折りを付け、次に裾を三分の幅に三つ折りになして、針目を三分位に紵け、次に第一三五頁下圖の如く折りを付け、然る後稜を取るなり。但後布二枚の時は、後布の中央を二枚縫合せ、次に前布を縫合せ、次に相引を縫ふなり。

○男袴の各寸法を一々比較するときば、左の割合を相當とす。第一脇稜は、後幅の五分の三、下の寄稜よせは、後幅の五分の一、上の寄稜は、後幅の十分の一、笹稜ささは、脇稜幅の四分の一出來なり。襠の高さは、紐下の三分の二より一寸を減じたるものを並となす、但子供物は、紐下の三分の二より二寸を減じたるものを襠の高さとす。

相引は、紐下の三分の二を普通とす。

袴腰の幅は、後幅の四分の三に、五分加ふ、前腰幅は後幅と同じ。

袴腰の高さは、幅の三分の一に、一分或は二分を加へしものを普通とす。

袴腰の上の幅は、下の幅の六分の一を左右に於て斜に裁落すなり。

後幅は、紐下の三分の一に八分を加へしものを相當とす。

注意 子供物は、紐下の三分の一を後幅とす。

付菱の幅は、腰板の幅の三分の一、高さは、腰板の高さの二分の一に二分を加へしものを相當とす。

紐下即丈は、男物は着物の着丈に十分の六を乗ぜしもの、女物は十分の七を乗じたるものを普通とす。

後襠と前襠との間は、腰廻りの二分の一を普通とす。

○幅九寸五分、長さ一丈五尺八寸の布を以て、十二三歳の男兒

馬乘袴の裁方及積方。(第百三十二圖)

積方。總尺より腰切の五寸五分を減じ、一丈五尺二寸五分となる、之に形の二寸五分を加へ、一丈五尺五寸を得、次に之を七除し二尺二寸となる、即後丈なり。

○一丈八尺の布を以て、大人馬乗袴の裁方及積方。(第百三十三圖)

注意 極節約の裁方。

圖二十三第



前後紐
紐幅
八一
尺戸
内八
外寸

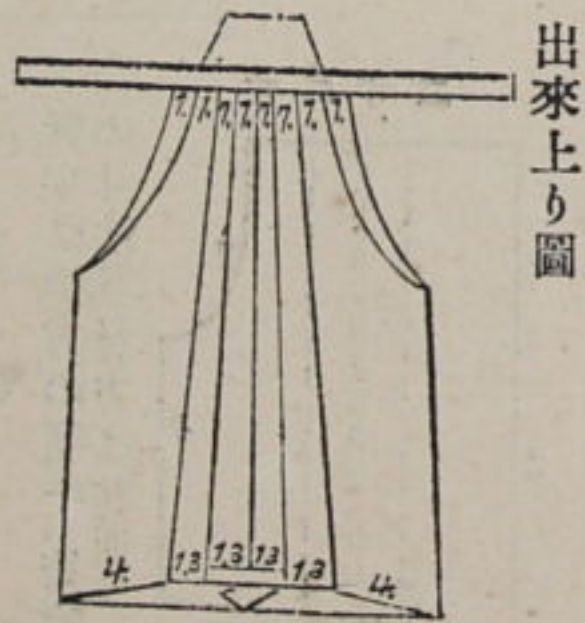
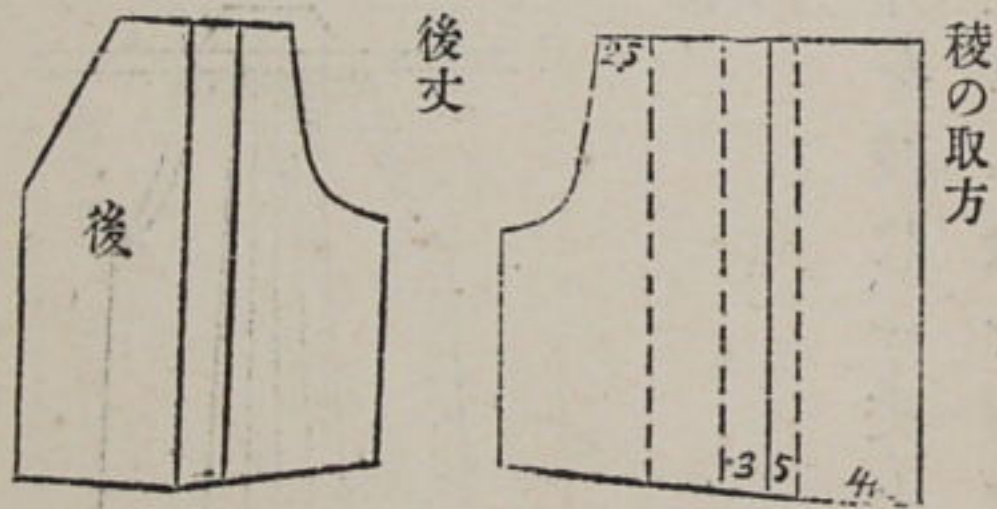
五分

裁落し五分

算 式

腰切
 $158, - 5,5 = 152,5$
 $152,5 \div 7 = 22,1$

$152,5 + 2,5 = 155,$



出来上り圖

圖斷裁紙腰の袴の種各

圖一十三第



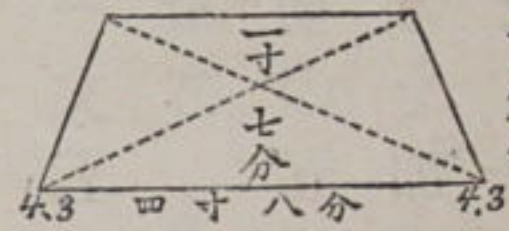
十四五歳



五六歳



大人並



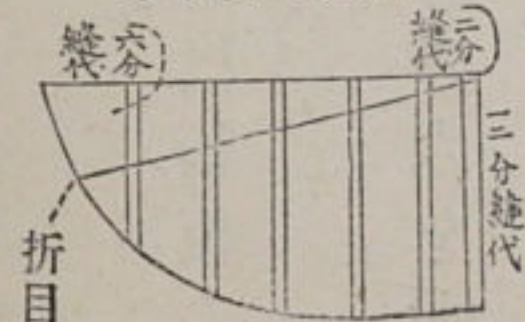
七八歳



大人ノ大ぶり

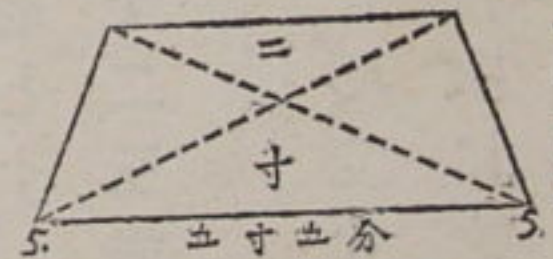


九歳十歳

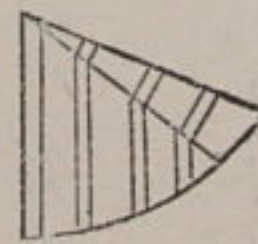


折り目の線

折り目の線



十一二歳



○女袴の種類

圖四十三百第

介五寸三巾紐後	モミ	ヒヒ	ヘマ	マ
17.5	17.5	18.5	18.5	
前	前	後	後	
16.5	16.5	18.5	18.5	

裁落し一寸

前後の差

算

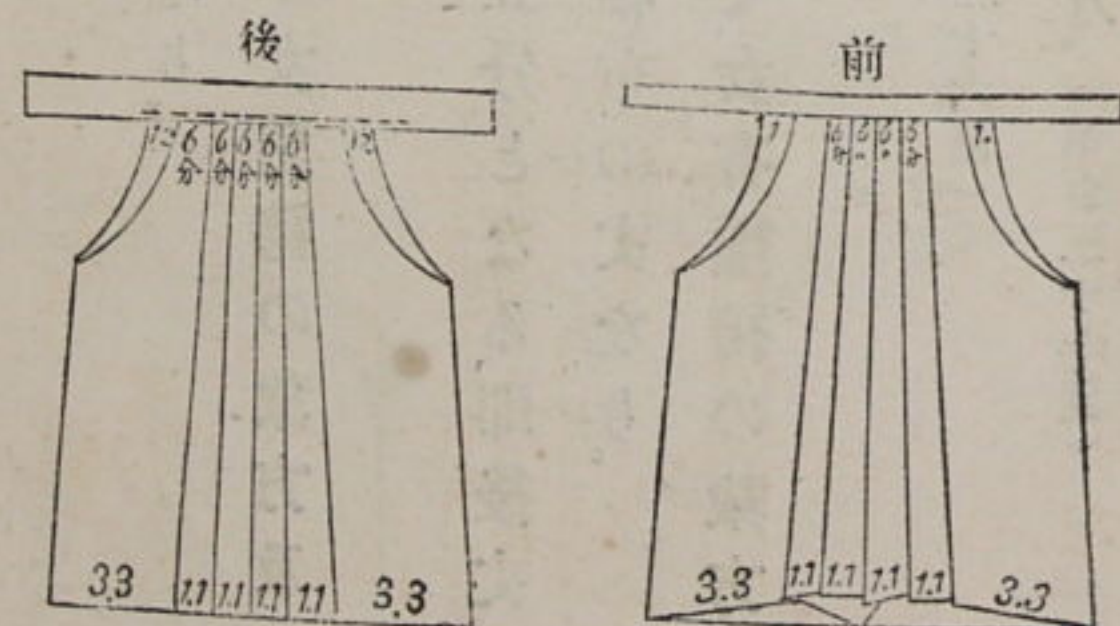
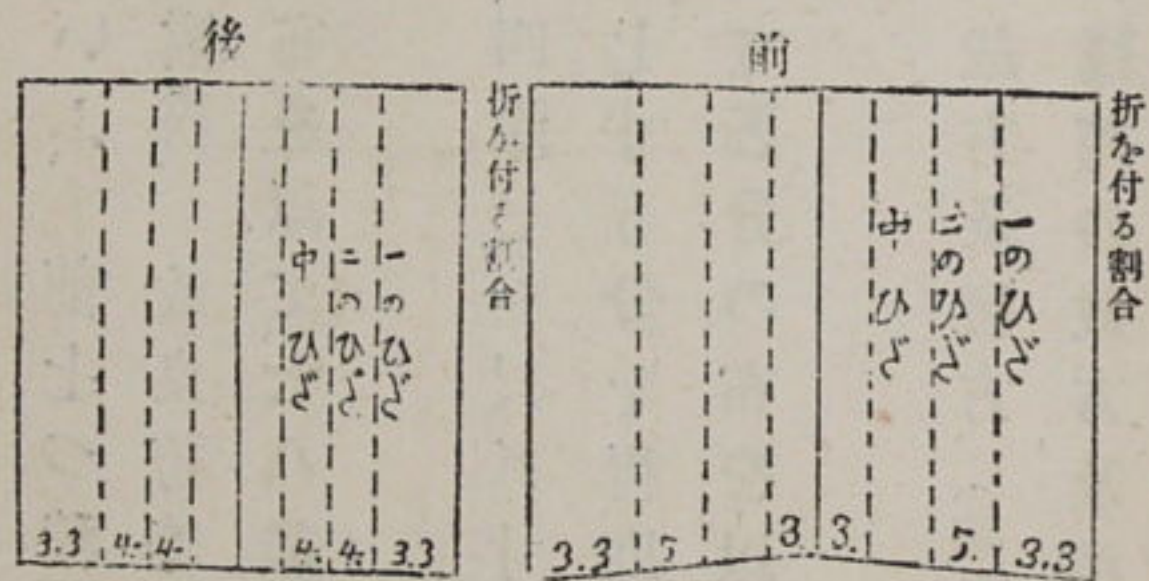
裁落し一寸

式

$$72, + 2, = 74,$$

$$18,5 - 1, = 17,5 脇丈$$

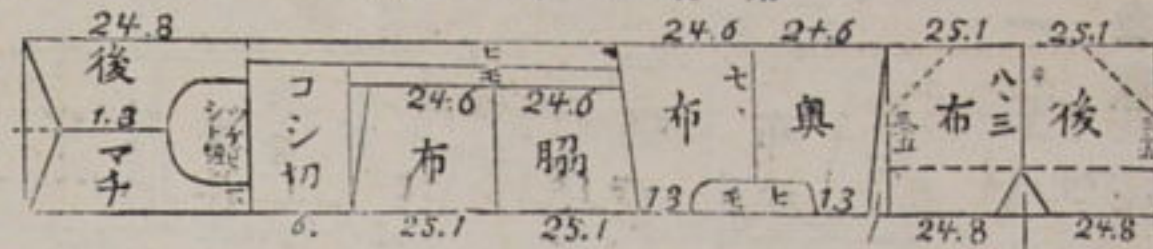
$$74, \div 4 = 18,5 後丈$$



なり。

積方。總尺より腰切の六寸を減じ、一丈七尺四寸となる、之に形一寸八分を加へ、一丈七尺五寸八分を得、之を七除し後丈を得る

圖三十三百第



紐幅一寸八分
前紐八尺以上
後紐一尺八寸

裁落六分

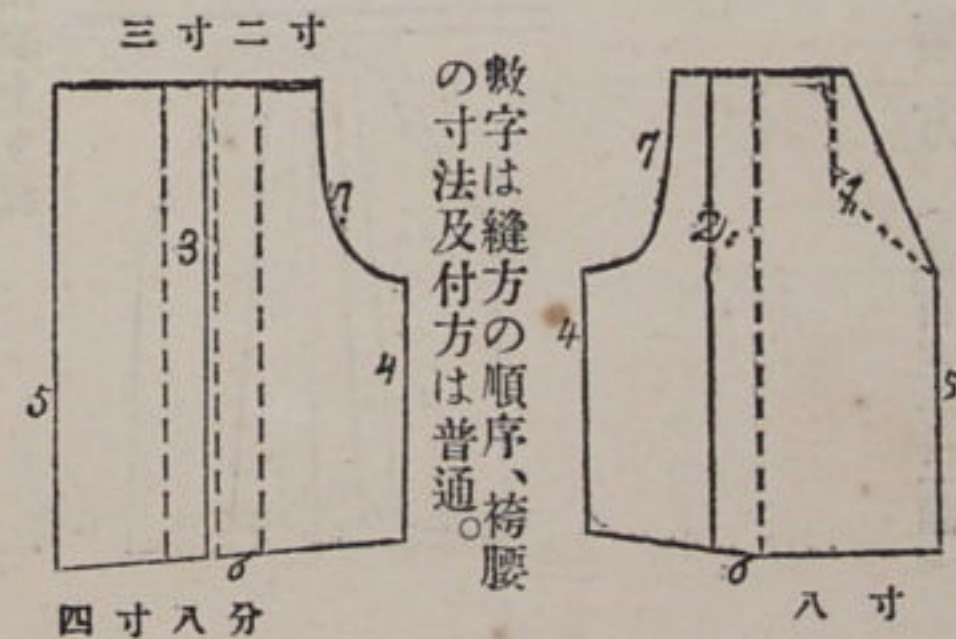
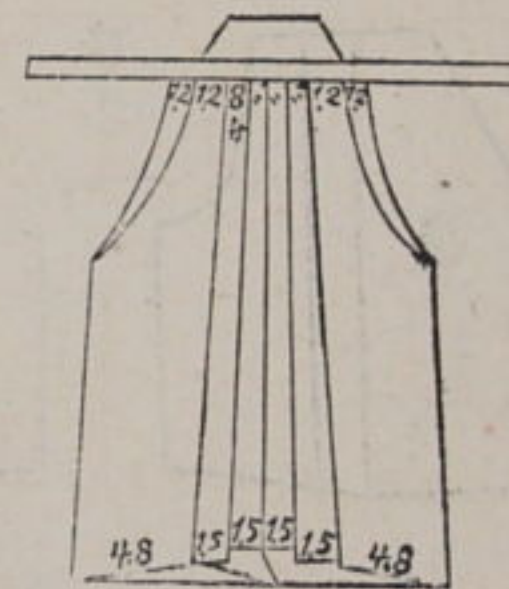
裁落三分

算式

$$180, - 6, = 174,$$

$$174, + 1,8 = 175,8$$

$$175,8 \div 7 = 25,1 後丈$$



数字は縫方の順序、袴腰の寸法及付方は普通。

圖五十三百第

7 前 子 7	子 去 7	後 マ 去 7	後 マ 去 7	モ 去 7	ヒ 去 7	ロ 去 7	シ 去 7	ウ 去 7	四 寸	モ 去 7	ヒ 去 7	マ 去 7	マ 去 7	三 寸
27.1	27.1	27.1	27.1	26.1	26.1	25.1	25.1	26.1	26.1	25.1	25.1	26.1	26.1	25.1
後	後	後	後	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前

裁落一寸式

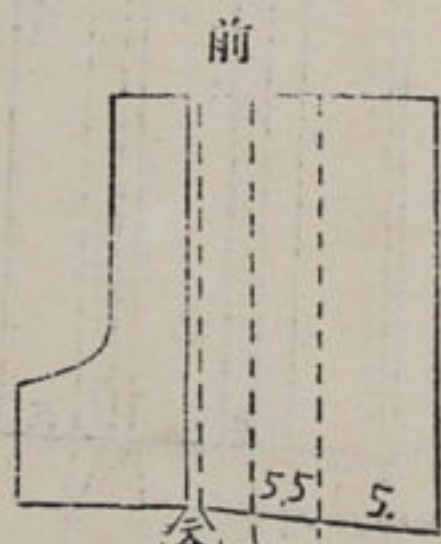
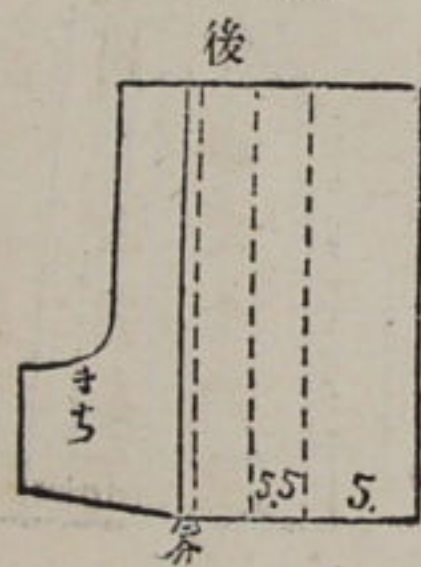
算

總尺 襦の高 むだ布
 $141,5 - 7, - 1, = 133,5$

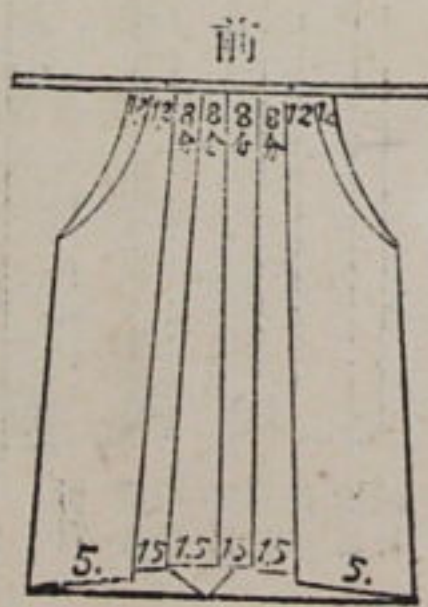
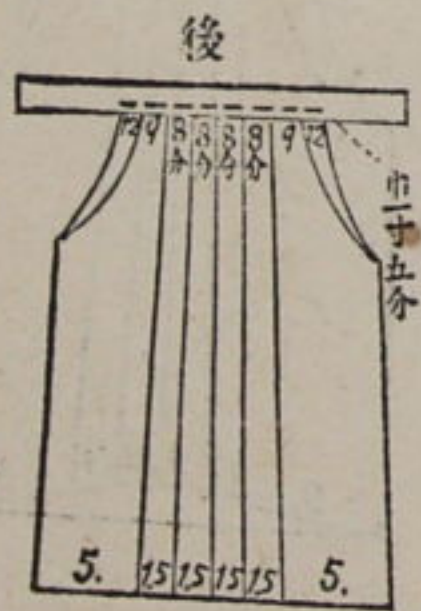
$130,5 \div 5 = 26,1$
 前丈

$133,5 - 3, = 130,5$

前後の差
 $26,1 + 1, = 27,1$
 前後の差 後丈



縫折折
 目目目



出來上り圖

後大門腰又は三つ稜ともいふ、前七つ稜。後三つ稜又は五つ稜ともいふ、前七つ稜。前後七つ稜、有襠袴、無襠袴、改良袴等あり。

○幅二尺、長さ七尺二寸の布を以て、七八歳の女兒袴の裁方及積方。(第百三十四圖)

積方。總尺に二寸を加へ、四除し、一尺八寸五分となる、即後丈なり、之より一寸を減じ、一尺七寸五分を得、即脇布の丈なり。

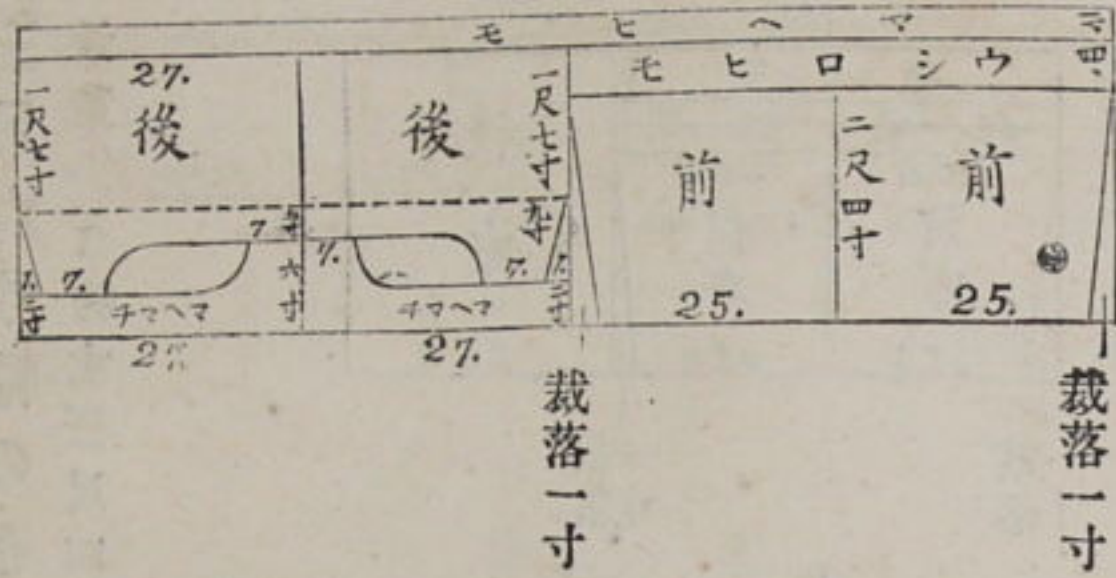
○幅二尺、長さ一丈四尺一寸五分の布を以て、女有襠袴の裁方及積方。(第百三十五圖)

○常幅の布を以て、女袴の裁方及積方。(第百三十六圖)

○幅三尺の布を以て、女有襠袴の裁方及積方。(第百三十七圖)

積方。後丈二尺七寸を四倍し一丈八寸となる、之より前丈をつ

圖七十三百第

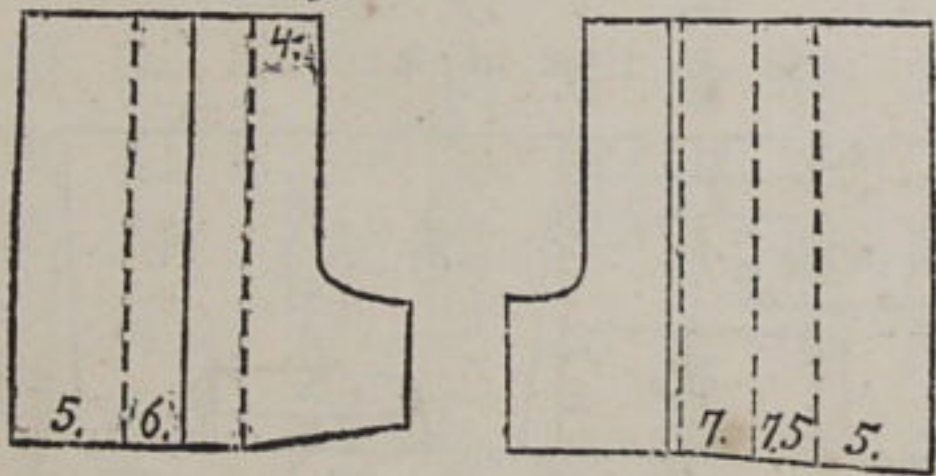


算式

後丈
27, × 4 = 108,

108, - 2, = 106, 用布

圖の左後



前の圖左右同様なる
故左のみを記す但疊
上たる圖は何れも同
様なれば之を略す。

める部分を二寸減じ、一丈六寸となる、即用布なり。

圖六十三百第

4.8	25	25	26	26	27	27	27.5	27.5
四 紐 後								
モヒヘマ								
モヒ	前	25.5	25.5	25.5	25.5	27.3	27.3	27.3

布奥 布臨 布 後

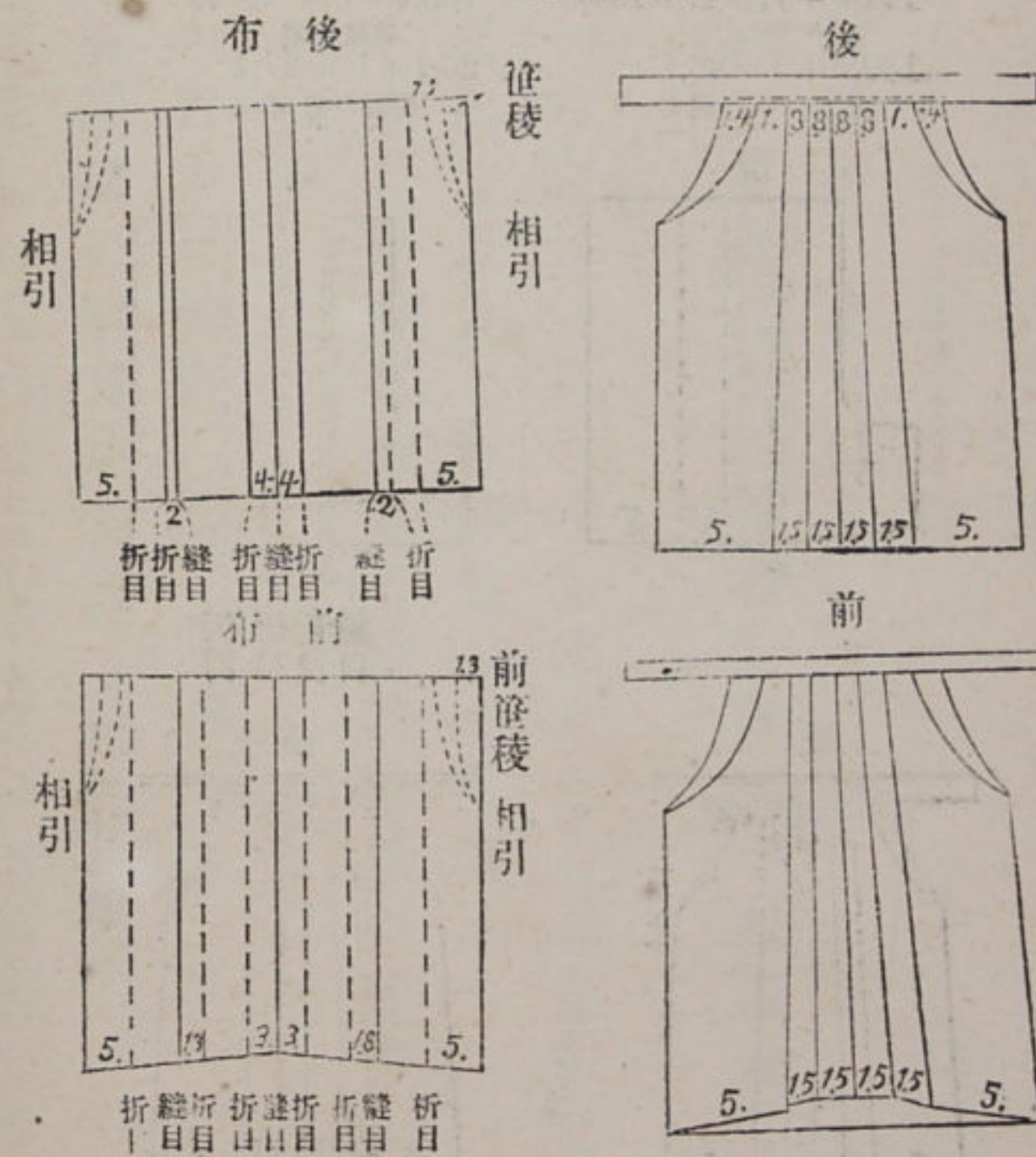
算式

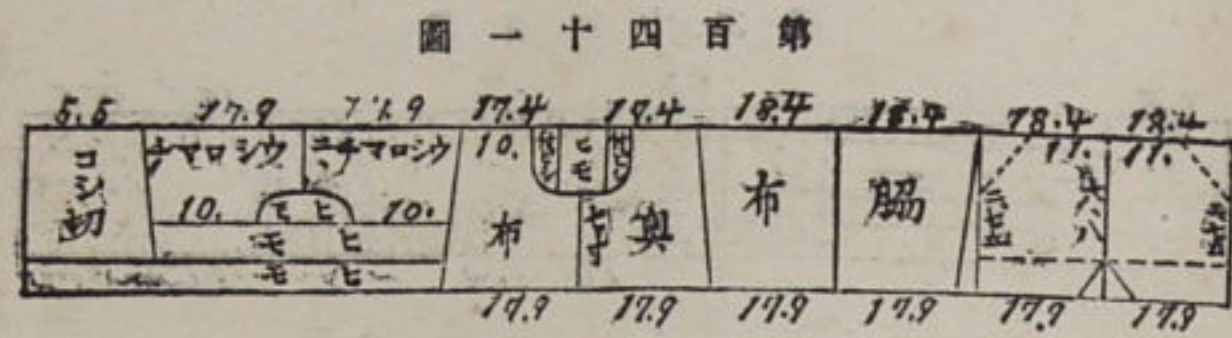
後丈
27,5 × 8 = 220,

紐
220, + 48, = 268,

268, - 9, = 257, 用布
前後の差

圖るたみ疊を稜布後





裁落五分
裁落一寸

算式

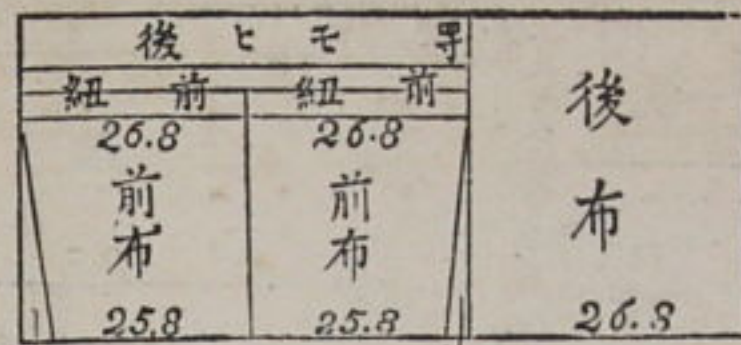
$$160 - 5.5 = 154.5$$

$$154.5 + 3 = 157.5$$

$$157.5 \div 8 = 19.7$$

- 幅二尺、長さ一丈の布を以て馬乗袴の裁方及積方。(第百三十九圖)
 - 幅二尺、長さ一丈の布を以て馬乗袴の裁方。(第百四十圖)
 - 着物の丈を知て袴の紐下を求むる法。
 - 一丈六尺の布を以て、十二歳位の男兒袴の裁方及積方。(第百四十一圖)
- 着物の丈三尺なれば、之に十分の六を乗じ、一尺八寸を得、即之を紐下と定むるなり。
- 積方。總尺一丈六尺の内より腰切の

圖八十三百第



一裁寸落

一裁寸落

算式

$$34 \times \frac{7}{10} = 23.8$$

着丈 紐下の寸法

裁切寸法

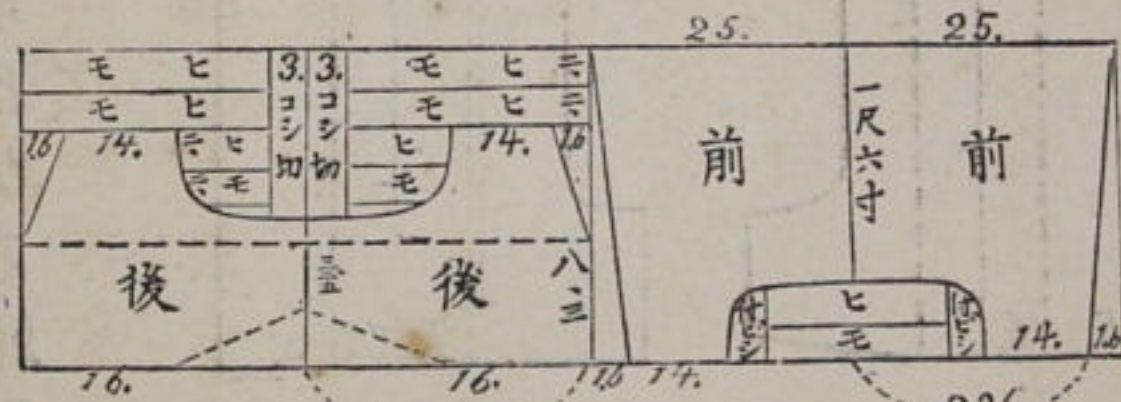
$$23.8 + 3 = 26.8$$

裾と落縫 裾裁と代

$$26.8 \times 3 = 80.4$$

用布

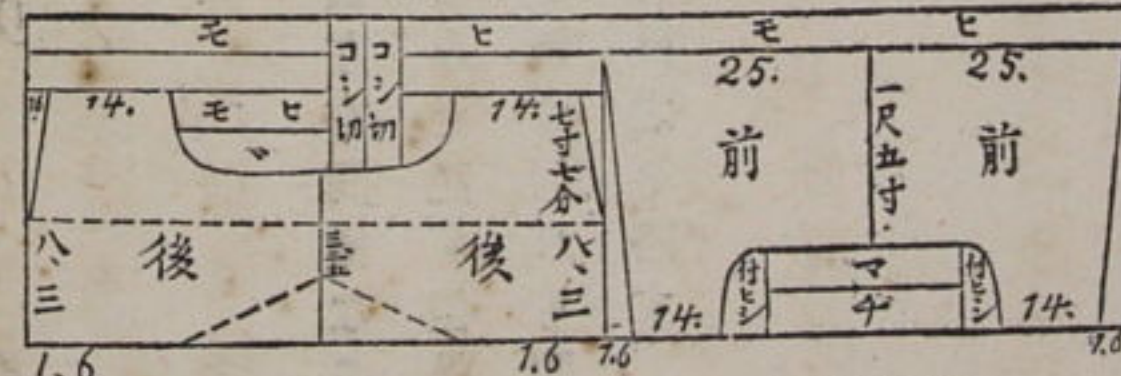
圖九十三百第



寸後五丈二分

六一相引寸尺引

圖十四百第



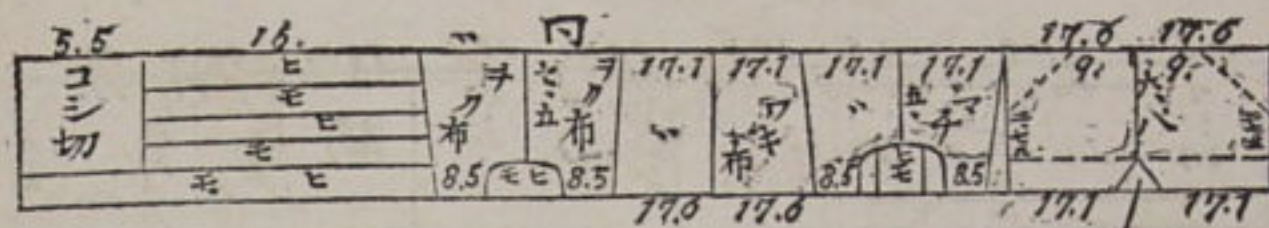
尺後五丈二

切にと檔入る間

○ 三尺六寸幅の布を以て、女袴の裁方及積方。(第百三十八圖)

注意 着物丈三尺四寸。

圖二十四百第



紐幅一寸
八分
奥布
後布

算式

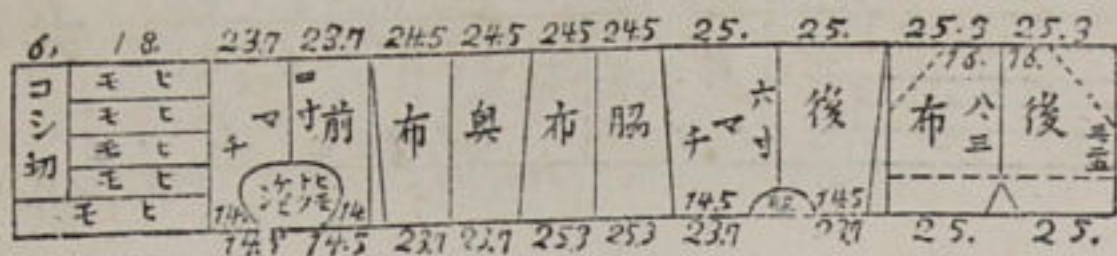
$$\begin{aligned} \text{紐} & 5.5 + 16 = 21.5 & \text{總尺} & 160 - 21.5 = 138.5 \\ \text{裁落} & 138.5 + 3 = 141.5 & \text{後丈} & 141.5 \div 8 = 17.6 \end{aligned}$$

五寸五分を減じ、一丈五尺四寸五分となる、之に形の三寸を加へ一丈五尺七寸五分となる、之を八にて除し一尺八寸四分を得、即後丈なり。

○一丈六尺を以て、紐下一尺六寸五分出來袴の裁方及積方。(第百四十二圖)

積方。總尺の内より腰切の五寸五分と紐の一尺六寸とを減じ、残り一丈三尺八寸五分となる、之に三寸を加へ、一丈四尺一寸五分となる、之を八にて除し、一尺七寸六分となる、即後丈なり。

圖三十四百第

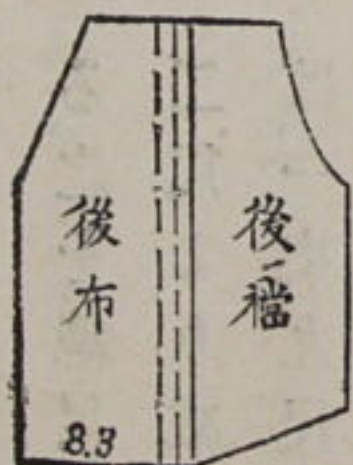


形三分

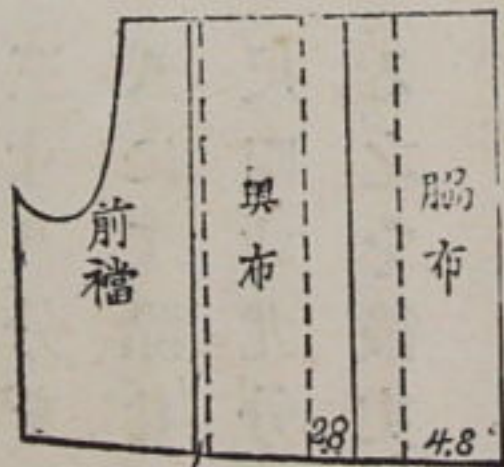
算式

$$\begin{aligned} \text{紐} & 18 + 6 = 24 & \text{總尺} & 270 - 24 = 246 \\ \text{裁落} & 246 + 7 = 253 & \text{後丈} & 253 \div 10 = 25.3 \end{aligned}$$

積方。紐切の一尺八寸と腰切の六寸とを加ふれば二尺四寸となる、之を總尺より減じ、残り二丈四尺八寸となる、之に形の七寸を加へて、十にて除すれば二尺五寸三分となる、之を後丈とす。



此八分間



此一寸間

○二丈七尺の布を以て、十布遣の馬乘袴の裁方及積方。

○二丈二尺を以て、四布遣の馬乗袴の裁方及積方。(第百四十四圖)
積方。紐切の一尺八寸に腰切の六寸を加ふれば二尺四寸とな

第百四十四圖

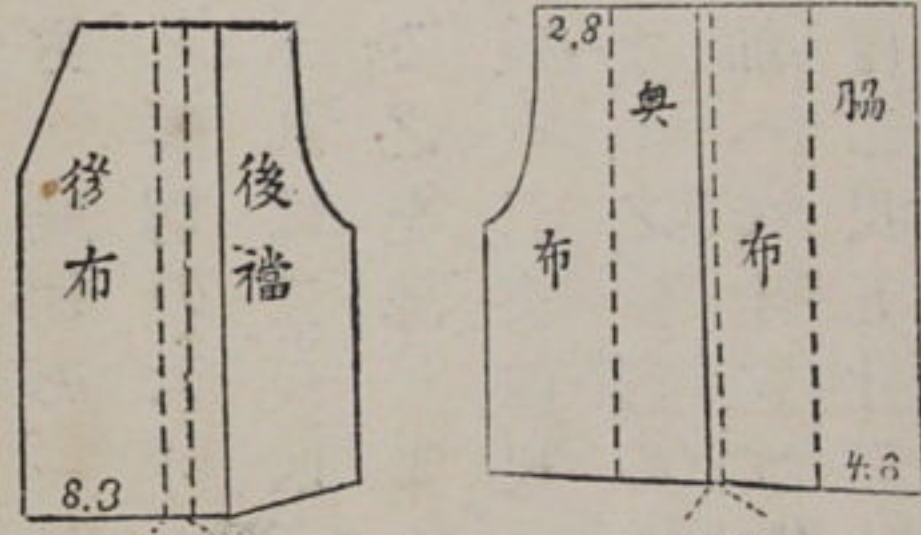


形三分

算式

紐	腰切	總尺
18,	+6,	=24,
22,	-24,	=196,
196,	+3,8	=199,8
		199,8 ÷ 9 = 24,9
		後丈

積の取り方



此分間
以上

此分間

る、之を總尺二丈二尺より減ずれば、一丈九尺六寸となる、之に形の三寸八分を加へ、八にて除せば二尺四寸九分となる、之を後丈とす。

○四丈八尺を以て、十番馬乗袴二具の裁合方及積方。(第百四十五圖)

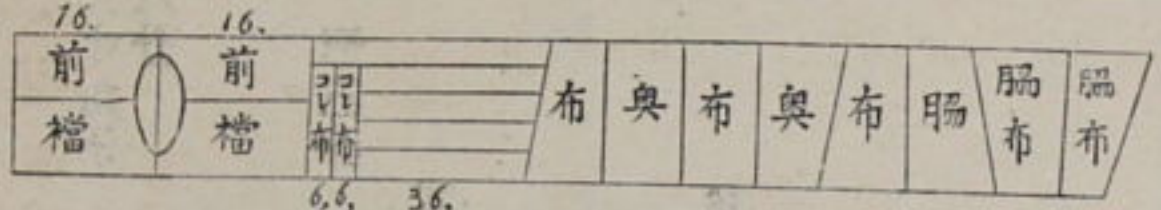
第百四十五圖



形三分

上のつゞき

下につゞく

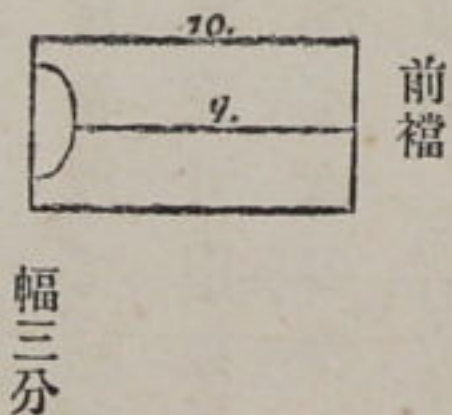
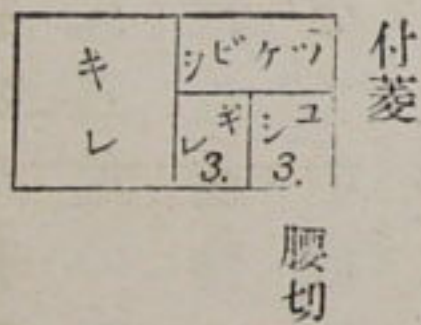
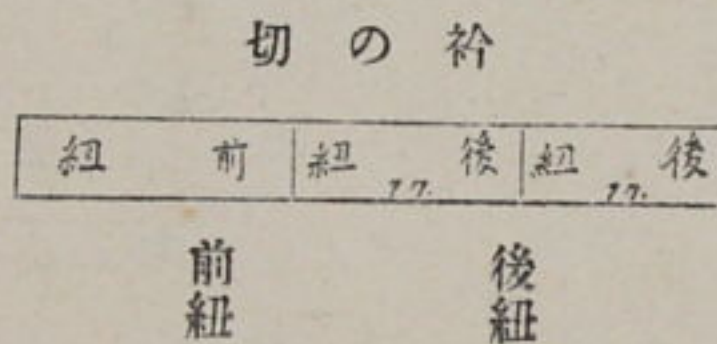
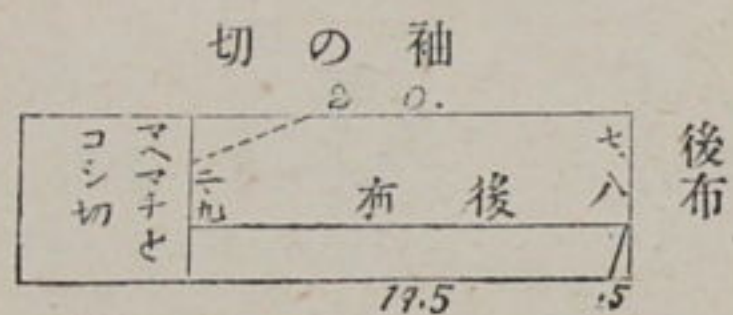
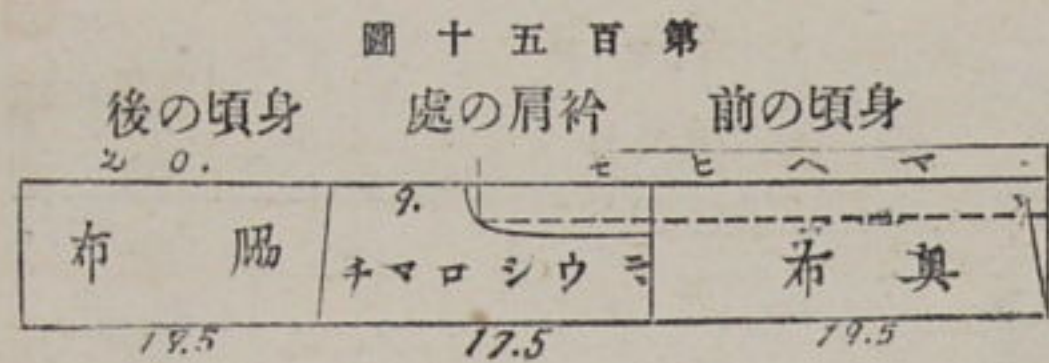


算式

紐	襠	腰	
18,	+16,	+6,	=40,
480,	-80,		=400,
409,7	÷16		=25,6
			後丈

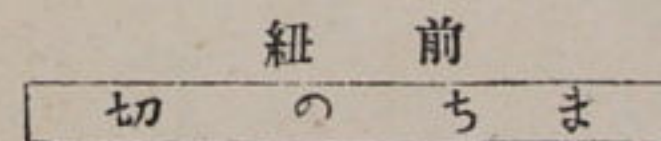
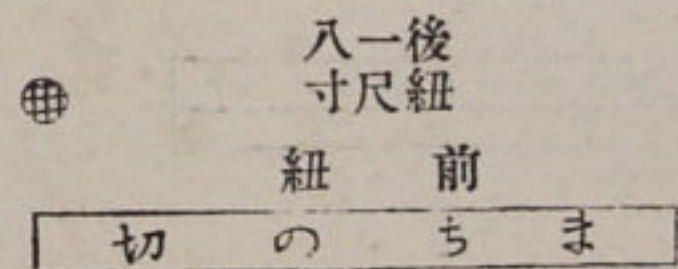
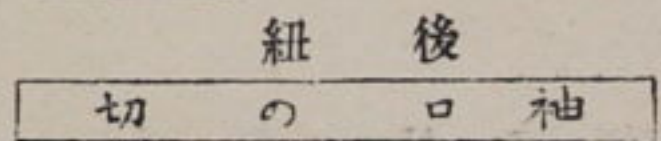
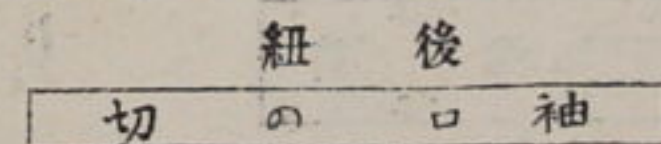
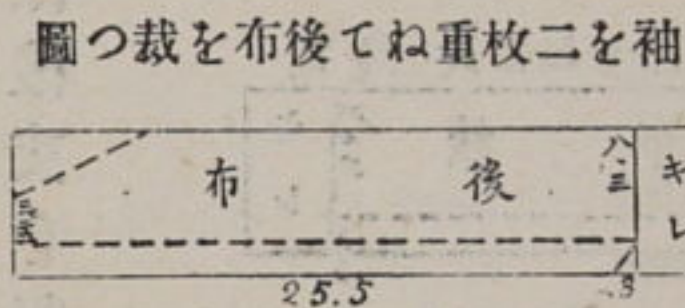
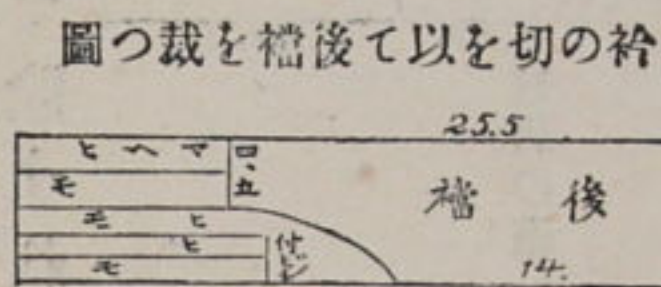
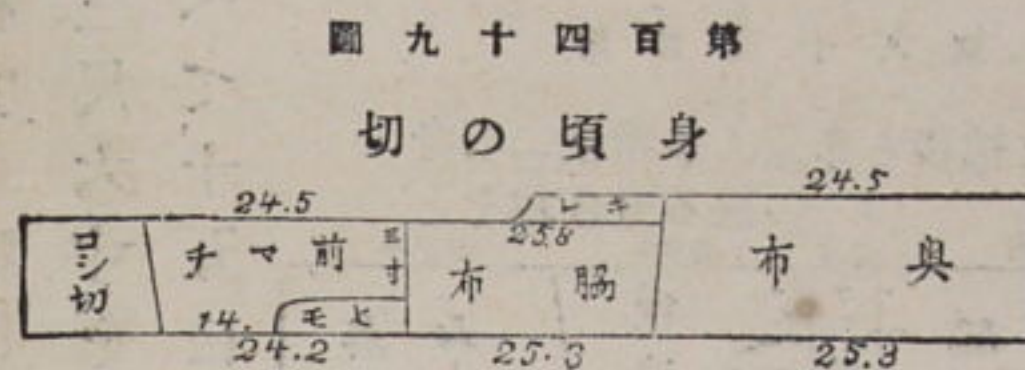
積方。紐切の一尺八寸と、前襠の一尺六寸、腰切の六寸とを加へて二倍し、總尺四丈八尺より減ずれば四丈となる、之に形の九寸七分を加へ、十六にて除せば二尺五寸六分となる、之を後丈とす。

○二丈五尺を以て、七つ子の馬乗袴三具の裁合方及積方。(第百四十六圖)



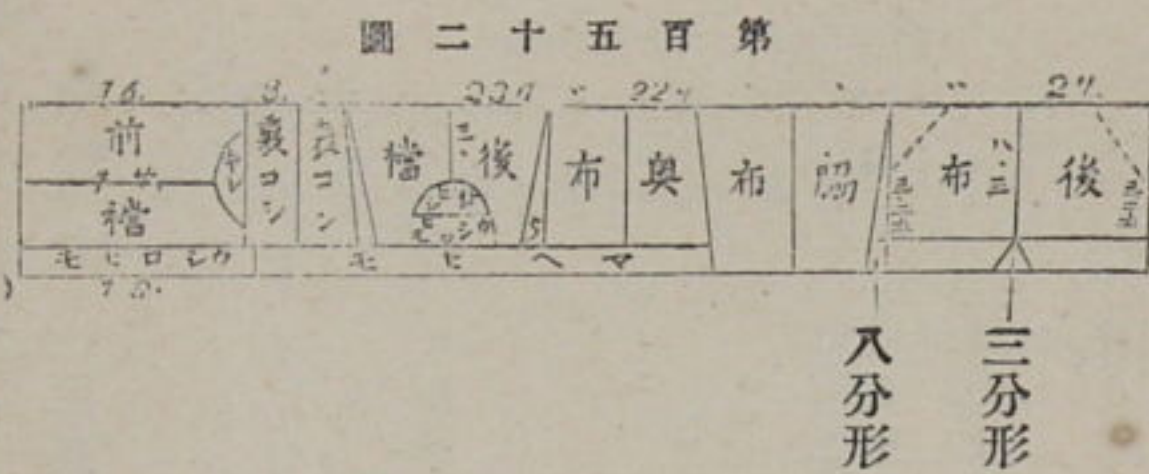
點線は衿の縫目痕

○袖丈一尺四寸五分、身丈後三尺五寸、前四尺三寸の古羽織を以て、十番馬乗袴の裁方。(第百四十九圖)



以九前上尺紐

○袖丈一尺四寸、身丈三尺八寸の古着物の表を以て、十番馬乗袴の裁方。(二枚重ねて裁つ圖)(第百四十八圖)



算式

紐下 21, + 縫代 3, = 24, 後丈
 後丈 布数 前襟 裏腰 表切 裁込
 $(24 \times 8) + 16 + 6 - 38 = 210.2$ 総尺

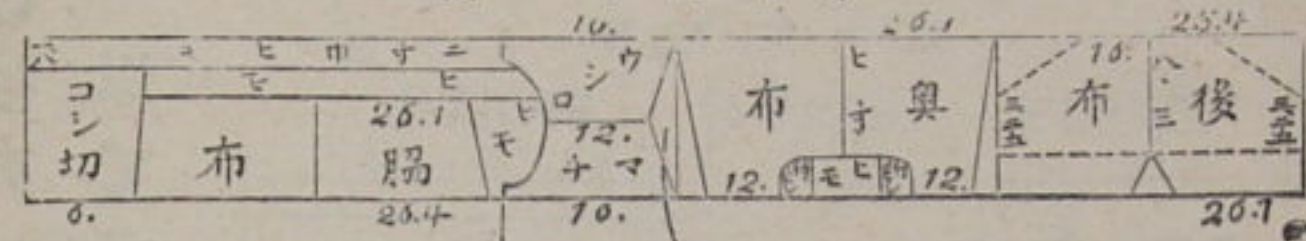
の五分の四内外、其高さは後幅の五分の一半内外。

疊み方は懷を片返しになし、其他は並の袴と同様なり、懷の幅は後幅の五分の二以上、脇稜は後幅の五分の三、下の寄稜は、後幅の十分の一、笹稜は後幅の五分の一半、相引は紐下の三分の二。

○幅九寸五分の布を以て、十番馬乗袴紐無繼の裁方及積方。(第百五十二圖)

注意 紐下二尺一寸上り
 稜の取方は前後共十番と同様

圖一十五百第



後紐一尺七寸
 八分づゝ、
 前紐八尺内外

幅三分

裾落五分

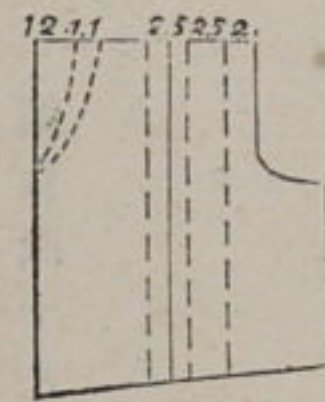
形三分

算式

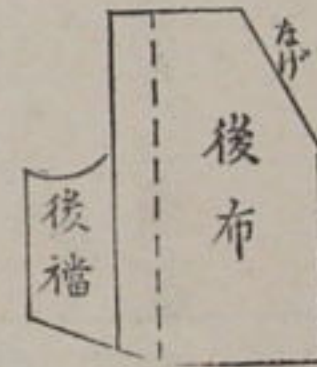
後襟 腰切
 $16 + 6 = 22,$
 $158 + 6 = 158.6$

式

$180 - 22 = 158,$
 $158.6 \div 6 = 26.4$ 後丈



折縫折目



縫折目

付菱は豎一寸三分、横二寸内外、腰幅は後幅

積方。(第百五十一圖)

馬乘袴の裁方及

尺三寸出來上り

尺を以て、紐下二

○常幅長さ一丈八

方。(第百五十圖)

以て、中裁袴の裁

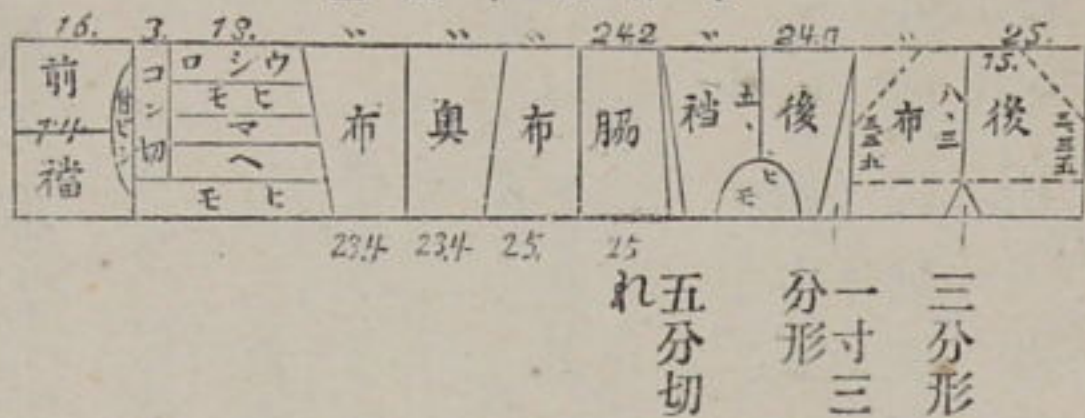
裁古着物の表を

丈三尺の四つ身

○袖丈一尺五寸、身

○幅九寸五分の布を以て、同上裏の裁方及積方。(第百五十五圖)

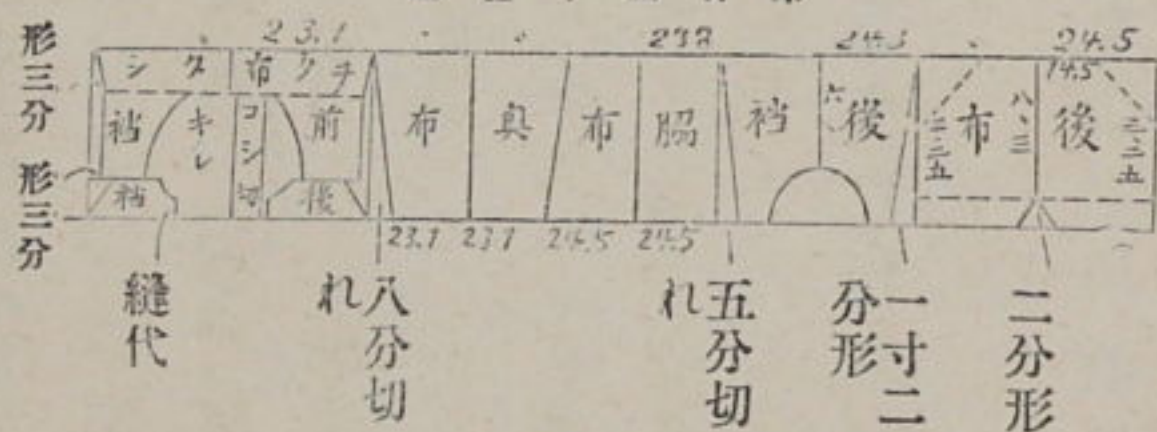
圖四十五百第



算式

$$\begin{aligned} & \text{紐下} \quad \text{縫代} \\ & 22, \quad + \quad 3, \quad = \quad 25, \text{後丈} \\ & \text{後丈} \quad \text{布敷} \quad \text{後紐丈腰切} \quad \text{前襟} \quad \text{裁込} \\ & 25, \times 8, + 18, + 3, + 16, - 38, = 233,2 \\ & \text{總尺} \end{aligned}$$

圖五十五百第

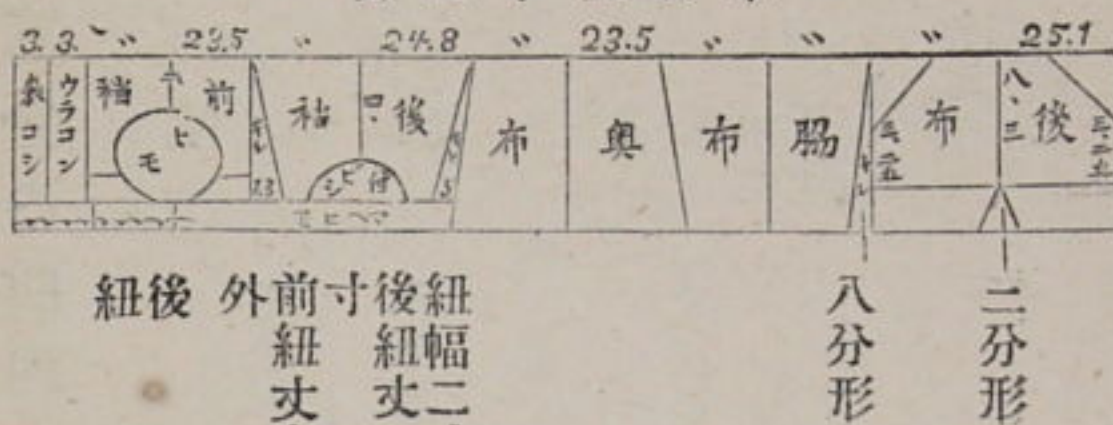


算式

$$\begin{aligned} & \text{表後丈} \quad \text{裏後丈} \\ & 25, - 5, = 24,5 \\ & 24,5 \times 10 - 6, = 239, \\ & \text{裏總尺} \quad \text{布敷} \quad \text{裁込} \end{aligned}$$

後襟足布幅二寸四分
前襟足布幅二寸四分
奥布幅二寸二分
前襟の高幅三寸五分
前襟の高幅三寸五分

圖三十五百第



算式

$$\begin{aligned} & \text{總尺} \quad \text{表裏切} \quad \text{裁込} \quad \text{布敷} \\ & (250, - 6, + 7,) + 10 = 25,1 \\ & \text{後丈} \quad \text{縫代} \\ & 25,1 - 3, = 22,1 \\ & \text{紐下} \end{aligned}$$

○幅一尺五分の仙臺平を以て、大人男袴表の裁方及積方。

注意 袴のときは裏腰切は必ず裏地を用ふ。

○幅一尺、長さ二丈五尺の布を以て、トッコー入馬乗袴の裁方及積方。注意 紐の用方。(第百五十三圖)

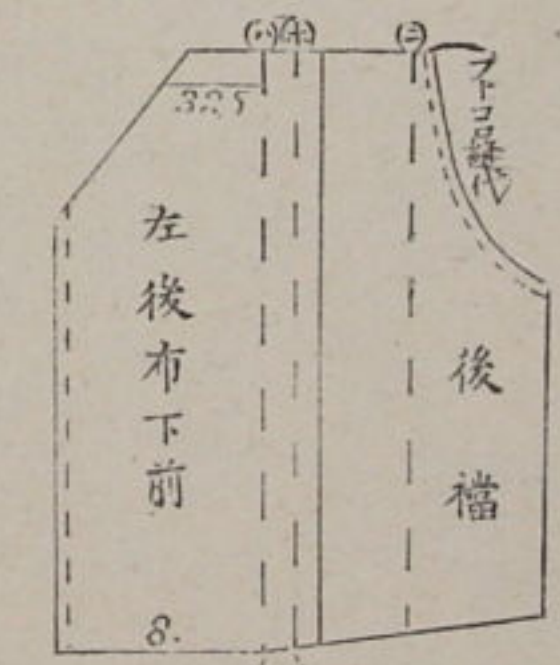
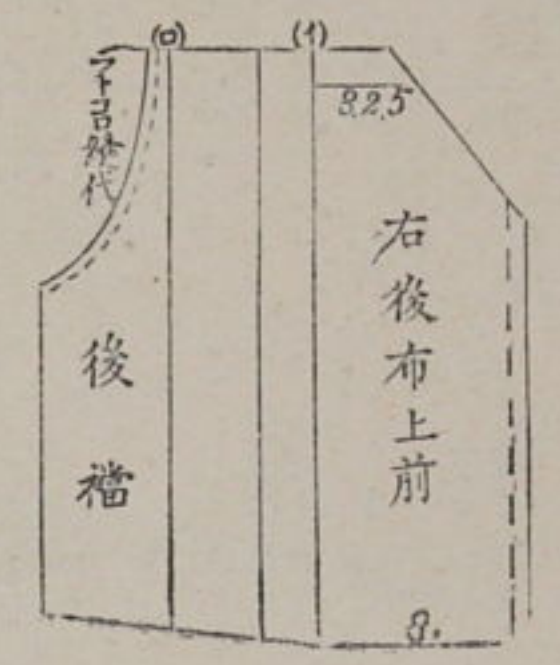
トッコーの部を左右の後紐に用ひ、残り(前腰幅)八寸ある時は、前腰に用ふ(但前後共紐の表に出すを普通とす)若し前腰幅に足らざる時は、着用上見えぬ處に廻すべし

注意 稜の取方。前後共十布遣と同様

注意 裏は表より丈五分短き故、襠の高さ及相引を五分短くし、而して縫上げた
 る時は裾口にて表布は裏に二分五厘返すなり。

後稜の取方、

圖六十五百第

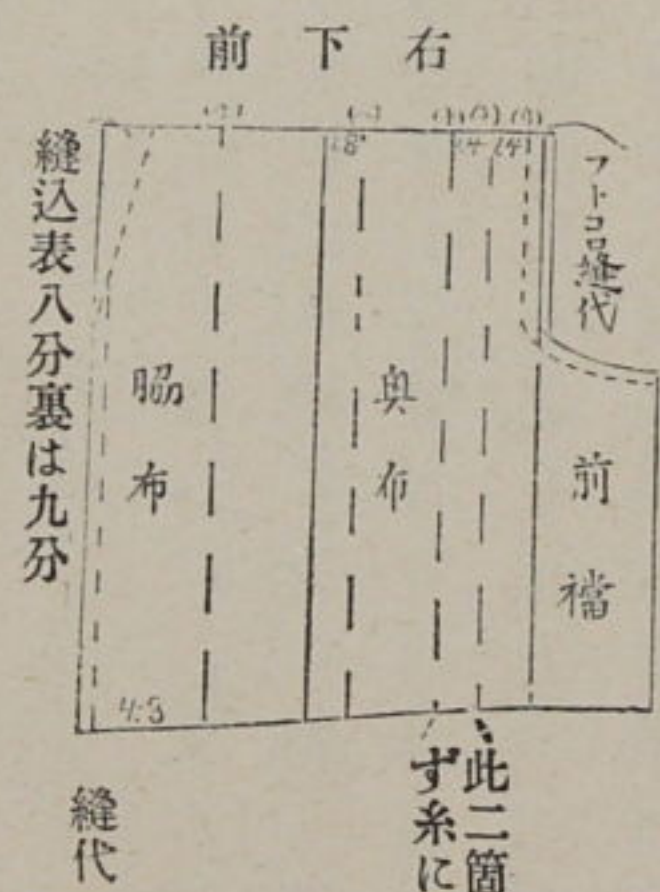
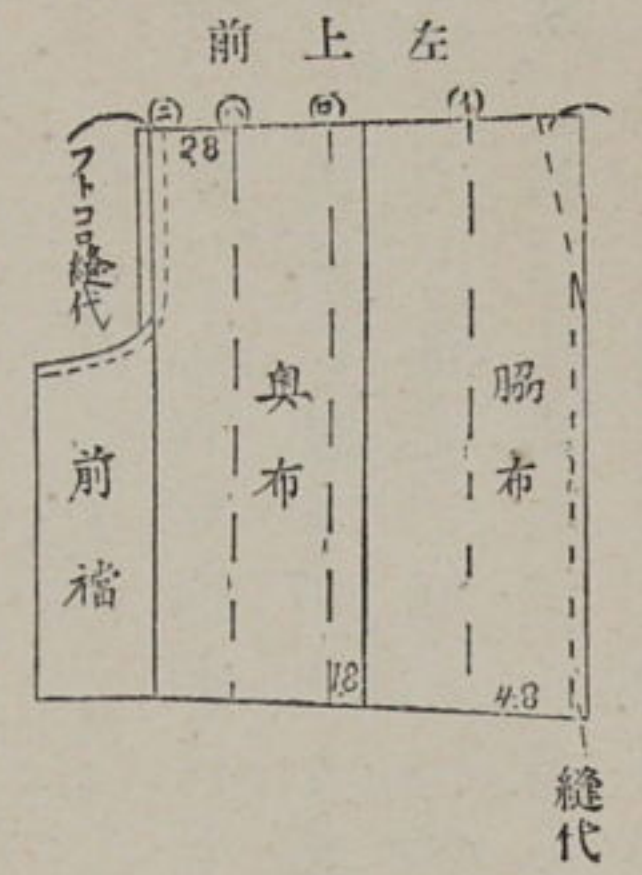


此間後稜の重
 なり八分以上
 一寸

(イ) 印を折り、(ロ) 印に合せて、懷を眞直に折り、(口) 印より先の後襠の
 部は更に裏に折り返す。
 (ホ) 印を折り、次に(ハ) 印と、(ニ) 印とを合せ、眞直に折るなり。

○前稜の取方。

圖七十五百第



此二箇所は折を付け
 ず糸にて印す

(ハ) 印を折り、(ニ) 印に合せて眞直に懷を折り、次に(ロ) 印を折り、(ハ) 印
 の稜山より上は、紐下の所にて八分、下は一寸六分離して正しく
 折り、次に(イ) 印を折り、(ロ) 印の稜山より上は八分、下は一寸六分離
 して正しく折るなり。

(チ) 印を折り前襷を裏に折り返す、(但此時) (リ) 印と (ト) 印と合ふなり
 (ヘ) 印を折り、(ト) 印の稜山より上は八分、下は一寸六分離して、折り、
 (ホ) 印を折り、(ヘ) 印の稜山より上は八分、下は一寸六分離して正しく折るなり

注意 前後左右各別々に稜を取り終らば、充分壓を置くか又は裏より充分火熨

斗を懸くべし。

縫方。表は單十番馬乗袴と同様。裏を縫ふには、先づ後布の短き方と後襷の長き方とを縫合せ、折は後襷の方に返し、次に後襷の短き方と後襷の足し布の長き方とを縫合せ、折は足し布の方に返し、次に半紙を能く揉みて、能く伸し、之を幅五分に切り、一二枚裏裾口にあて、次に表裏の裾口を中表に縫合せ、折は裏に返し、次に薄き布又は揉みたる紙を眞直に幅五分に切り、裏の投に當

て、次に表裏の投を中表に縫合せ、(但投は中央にて印を五厘縫込むべし) 折は裏に返し、次に表に引き返し、投の所は表を裏に五厘ふかせ、裏を見て、二目落しに襷を掛け、又裾口は表を裏に二分五厘ふかせ、裏を見て襷を掛け、次に裏を下にして平に下に置き、膀上、襷の高さ、幅等に不揃あらば之を切り揃へ置くこと左右とも同様なり。

次に脇布の短き方と奥布の長き方とを縫合せ、折は奥布の方に返し、次に奥布の短き方と奥布の足切の長き方とを縫合せ、折は足布の方に返し、次に裏裾口に後と同じく揉紙を當て、表裏の裾口を縫合せ、折は裏に返し、次に表に引き返し、裾口は二分五厘表を裏にふかせ、襷を掛け、次に膀上、襷の高さと幅とに不揃あらば切り揃へ置くなり、次に圖に示せる如く、左右各別々に稜を取り

次に相引及襠の高さを縫合せ、稜を整へ、腰付、前紐付等は表裏幅同じ時の縫方と同様にすべし。

○袴の縫方。(裏表共幅同じ時の縫方)

先づ單勝の様に後布に後襠を縫付け、其縫目は襠の方に折を付け、表に倣ひて裏を縫ひ、裏地の甲斐絹又は絹等ときは、裏の裾口に紙を當て、裾を縫ひ、其縫目は裏の方に折を付け、次に裏と表との幅及丈の位を見て、裾口は二分五厘裏の方にふかせ、裏の投の處に眞直なる切を幅五分位になして綴付け、裏のしるしを一分縫込んで縫ひ、其縫目は裏の方に折を付け、表を五厘裏の方にふかせて、針目を五分に躡をかけ、後の左の方を九寸幅の處に折を付け、又裏の方の稜にも折を付け、烙鏝或は火熨斗を當て、疊み、次に右の後を縫ひ、其縫目は裏の方に折り、表を裏に五厘ふかせ

て、針目を五分に躡をかけ、後幅の處に折を付け、又裏の方にも稜の折を付け、裏の方より烙鏝或は火熨斗を懸け、之を疊み置き、次に脇布に奥布を縫付け、縫目は奥布の方に折を付け、次に表に倣ひて裏を縫ひ、裏の裾口に紙を當て、之を表と揃へて縫ひ、其縫目は裏の方に折り、表を裏に二分五厘ふかせて、幅及丈の位を見て印を付け、又稜幅の印を付け、左右共別々に稜を取り、裏の方に烙鏝或は火熨斗をかけ、次に後と前とを合せて相引を四つ縫になし、笹稜の處は上の方を八分の縫代に裏を一分見て斜に縫込み、其縫目は裏の方に折を付け、次に右の後襠とを揃へて、四つ縫に、左は中程より上は裏と表とを別々に縫ひ、引返して勝は、左の裏と表の切を以て、右足を挟みて四つ縫になし、之を引返して、縫目を正しくなし、單袴の如く稜を取り、壓を置き、次に紐を新け、次に

紙を揉みて皺を伸し、付菱と裏腰の切の極端に糊を以て貼付け、次に袴腰の上の裏の方に糊を付け、其處に表の腰切を貼付け、又袴腰の下の表の端に糊を付け、其處に表の腰切を引張りて貼付け、又腰紙を五厘程見て、表腰の切を表の方に折返して折を付け、次に半紙を五分の幅に裁切り、之をよりて糊を付け、左右の端一寸二三分詰めて、腰紙の極端に載せ、次に裏の方に糊を付け、表腰の切を貼付け、次に付菱は四分程斜に折を付け、豎の方は直線に折を付け、腰紙の高さの中程より一分か二分上迄行く様になして付菱を裏の方を表に當て袴腰の裏に貼付け、次に袴腰に後紐を縫付け、次に後布の上部に載せ、待針を刺し、單袴の如く裏腰の切と共に縫付け、腰紙の上部に糊を付け、裏腰切を貼付け、次に前紐の紵残したる處に半紙二枚を八枚に折て紐を付くる處に當

て針目三分位に之を縫付け、凸凹のなき様に紙或は小切を入れて紵付け、次に左右共一寸位袴より詰めて紐を疊み付け、次に厚紙五分幅を二本、七分幅を一本裁ち、之を以て紐を封じ置くなり。但絹布なれば、總て縫目に烙鏝を懸け、又地厚の品なれば、返し縫にして、縫目を割りて烙鏝を懸け、裏と表と同幅になし、地薄の品なれば、總て四つ縫になすこともあるべし。

渡邊先
生遺稿
新裁縫教科書卷之二終

明治四十一年五月二日印
 明治四十一年五月五日發
 明治四十一年八月一日再版印刷發行

不許
複製

特約販賣所

東京市日本橋區鐵砲町三番地 文盛堂
 東京市日本橋區數寄屋町九番地 六合館
 東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地 林
 東京市日本橋區大傳馬町二丁目廿一番地 文林堂
 東京市神田區表神保町 前東淺目
 大阪市東區南久寶寺町四丁目十九番屋敷 川
 善京 見黑原
 兵 文書平友
 衛堂吉店郎吉

編輯者 兼
 發行所
 印刷者
 印刷所

東京市本郷區東竹町三十五番地 渡邊
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 天野耕一
 株式會社 秀英舍第一工場
 東京市本郷區東竹町三十五番地
 東京裁縫女學校出版部
 (電話下谷三三〇番)

~~101880~~

滋
188

壹部
 三冊
 定價金貳圓

104632

昭和 年 月 日
 8205

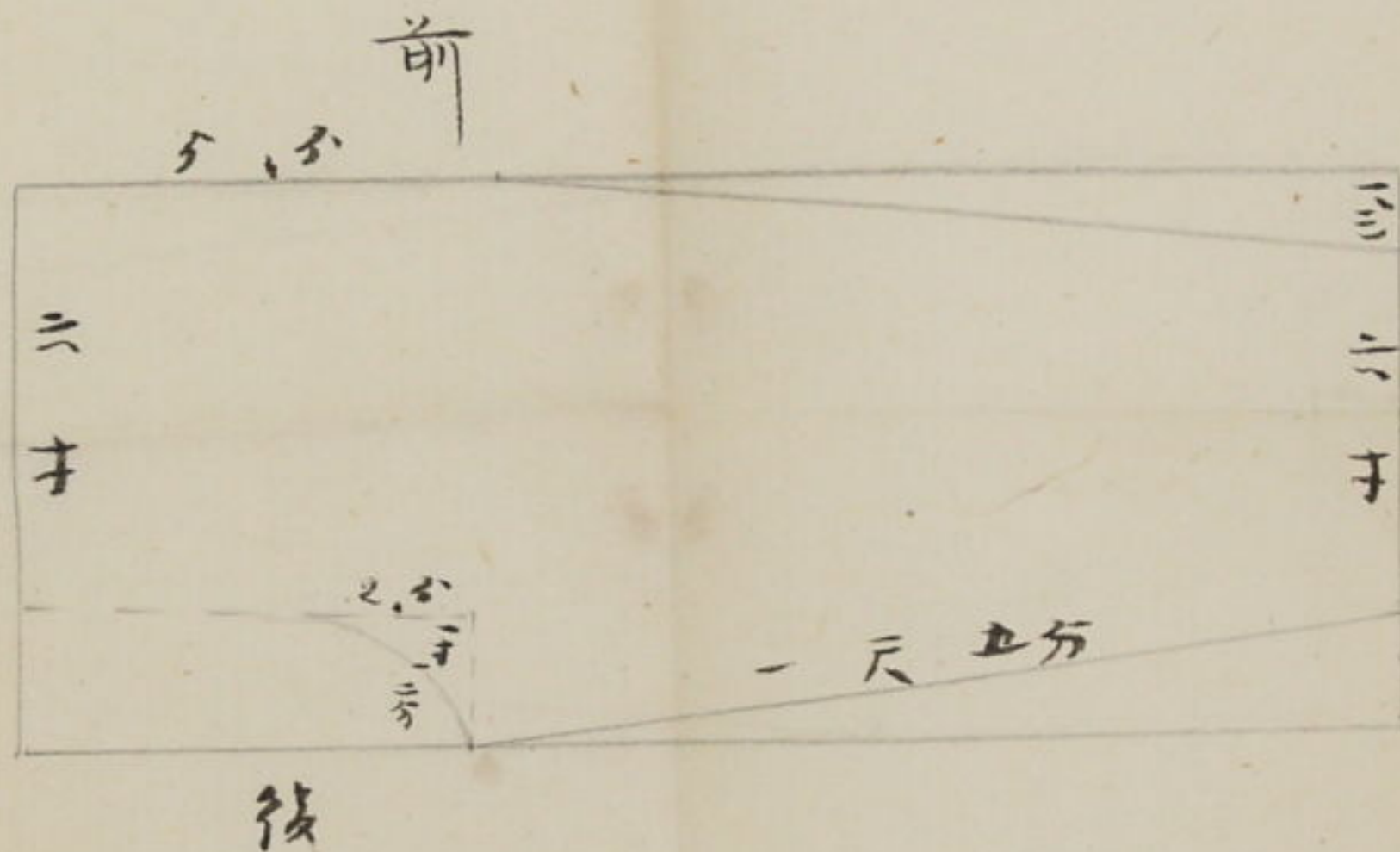
375.5
 W46
 2
 昭和44年4月 日
 資學 55



東京裁縫女學校
出版



まの輪



裁
襦
口

用布中表にホケを二つに折る。